

プリンタ ドライバ操作マニュアル

- このたびは本機をお買あげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目 次

はじめに	1
1. 概 要	2
1.1 特長	2
1.2 対象プリンタ	2
1.3 表記について	2
1.4 画面表示について	2
1.5 商標および略称について	3
1.6 動作条件	3
1.6.1 ソフトウェア (OS)	3
1.6.2 ハードウェア	3
1.7 注意事項 (重要)	4
[双方向通信サポート] の有効／無効	5
2. インストール手順	11
全機種共通	11
2.1 前準備	13
2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合	13
2.1.2 ホームページからダウンロードする場合	14
2.2 Windows 2000/XP/Server2003へのインストール	16
2.3 Windows Vista/Server2008へのインストール	21
2.4 Windows 2000へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)	28
2.5 Windows XP/Server2003へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)	30
2.6 Windows Vista/Server2008へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)	32
2.7 Windows 2000へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)	33
2.8 Windows XP/Server2003へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)	36
2.9 Windows Vista/Server2008へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)	38
2.10 削除	39
3. 機 能	42
3.1 印刷条件の設定	43
3.2 用紙設定	46
3.2.1 用紙サイズの編集	47
3.2.2 プリセット	49
3.2.3 高度な設定	50
3.3 グラフィックの設定	52
3.4 オプションの設定	53
3.5 バーコードフォント／RFID フォントの設定	56
3.5.1 バーコードフォントの編集	58
3.5.2 RFID フォントの編集	60
3.6 バーコードプリンタの動作確認	62
3.7 プリンタフォントの指定	70
4. システム構成	73
4.1 システム構成例	74
5. Standard TCP/IP Port の追加 / 削除	78
5.1 追 加	79

5.2 削 除.....	81
6. 付 録	82
6.1 双方向通信サポートの設定方法.....	82
6.2 プリンタのパラメータ設定方法.....	83
6.3 LAN 接続方法	85

はじめに

このたびは東芝テック製バーコードプリンタをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本書は、東芝テック製バーコードプリンタ用 TPCL タイプ(*)プリンタドライバ(型番 : BDRV-WBX8-Z31、バージョン : V7.1.6 M-1) のインストール手順、および機能等の概要を記載した説明書です。

なお、最新版プリンタドライバは、東芝テックバーコードシステムホームページからダウンロードいただけます。

URL アドレス : <http://barcode.toshibatec.co.jp/Jpn/download/index.htm>

* TPCL : TEC Printer Control Language の略

1. 概要

1.1 特長

本製品は Windows 2000/XP/Server 2003/Vista/Server 2008 環境下で東芝テック製バーコードプリンタをご使用いただくための専用プリンタドライバです。

- Windows アプリケーションから印刷が簡単に行えます。
- バーコードプリンタ固有の命令（制御コマンド）を知らなくても、レーザーやインクジェットプリンタなどの O A 用プリンタと同じように使用できます。
- バーコードプリンタ特有のラベルサイズ、透過／反射センサー、カット印刷などの設定をプロパティ画面から簡単に行うことができます。
- バーコードプリンタとの接続は、RS-232C、パラレル、USB、LAN で接続します。

注意：プリンタの機種により、接続できるインターフェースが異なります。詳しくはご使用になるプリンタの製品マニュアルをご覧ください。

- 文字フォントは、Windows の TrueType フォントはもちろん、バーコードプリンタ内蔵のプリンタフォントもご使用いただけます。
- バーコードおよび2次元コードは、プリンタドライバにて印刷したいコードをフォント登録することにより、アプリケーションから簡単にご利用いただけます。

1.2 対象プリンタ

バーコードプリンタ：

B-374-TS15、B-474-TS15、B-874-TS15 / TS25、B-419-GS23、B-433-GS15 / TS15
B-458-TS13 / TS23 / TS33 / HS13 (*1)、B-484-TS15、B-858-TS15、B-SX5T-TS15、
B-SV4D-GH10 / GC10、B-SA4TM / TP-TS15 (*2)、B-SP2D-GH10 / 20 / 30 / 40、
B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-433-GC35-CSG、B-SK10D、B-458-TS25-R、
B-EP2DL-GH20 / 30 / 40、B-EP4DL-TH30 / 40、B-EV4D-GS14-R、B-EV4D-TS14-R

*1： B-458-HS13で『銘板・シールプリントシステム』、『プリントシステムⅢ（B-458-HS13用）』を使用する場合は、本製品をご使用ください。

*2： B-SA4TM / TP-TS15は203dpi のヘッドを装着した場合も含まれます。203dpi の B-SA4TM / TP-TS15のみに関連する場合は B-SA4TM / TP-TS15(203dpi)と表記します。

1.3 表記について

メニュー名、画面名、アイコン名、ボタン名、タブ名、項目名は [] で囲んで表記します。

例：[OK] をクリックします。

コンピュータの画面上や、プリンタの液晶表示器上に表示される文言は “ ” で囲んで表記します。

例：“CENTRO. MODE” の設定を・・・

参照する章のタイトルは『』で囲んで表記します。

例：『1.1 特長』を参照してください。

1.4 画面表示について

本書で使用しているコンピュータ画面は、操作説明の一例として掲載しています。特に断りがない場合は、Windows XP の画面を使用しています。また、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

1.5 商標および略称について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標になっている場合があります。本文中の各社の登録商標または商標には、TM、®マークは表示していません。本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Professional および Microsoft® Windows® 2000 Server は、Windows 2000と表記します。
- Microsoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional は、Windows XP と表記します。
- Microsoft® Windows® Server 2003, Standard Edition および Microsoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition および Microsoft® Windows® Server 2003 R2, Standard Edition および Microsoft® Windows® Server 2003 R2, Enterprise Edition および Microsoft® Windows® Server 2003, Datacenter Edition および Microsoft® Windows® Server 2003 R2, Datacenter Edition および Microsoft® Windows® Server 2003, Web Edition は、Windows Server 2003と表記します。
- Microsoft® Windows® Vista Ultimate および Microsoft® Windows® Vista Enterprise および Microsoft® Windows® Vista Business および Microsoft® Windows® Vista Home Premium および Microsoft® Windows® Vista Home Basic は、Windows Vista と表記します。
- Microsoft® Windows® Server 2008, Standard Edition および Microsoft® Windows® Server 2008, Enterprise Edition および Microsoft® Windows® Server 2008, Datacenter Edition および Microsoft® Windows® Web Server 2008 Edition および Microsoft® Windows® Server 2008 for Itanium-based Systems Edition は、Windows Server 2008と表記します。

1.6 動作条件

本製品は、以下のシステムおよび環境でご利用になれます。

1.6.1 ソフトウェア（OS）

以下の日本語 OS で使用できます。

* Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008

1.6.2 ハードウェア

上記の Windows OS が動作する DOS/V 機（IBM AT 互換機）で、かつ、以下の条件が必須または推奨となります。

	必須条件	推奨条件
CPU	Intel® Pentium® II 400MHz 相当以上	Intel® Pentium® III 1GHz 相当以上
メモリ	64MB 以上	256MB 以上
HDD	10MB 以上の空き容量	

1.7 注意事項（重要）

本製品をご使用いただく前に、次の注意事項を必ずお読みください。

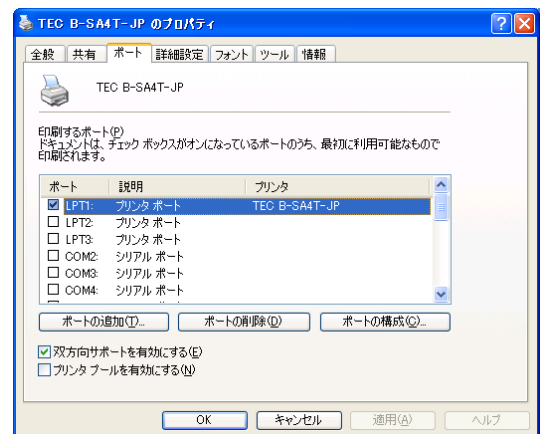
- ◆ 旧バージョンのプリンタドライバがインストールされている環境に、本製品（V7.1.6 M-1）をインストールする場合は、『2.10 削除』に記載されている方法にて、必ず旧バージョンのプリンタドライバを削除してから本製品（V7.1.6 M-1）をインストールして下さい。

旧バージョンのプリンタドライバを削除せずに本製品をインストールした場合、旧プリンタドライバのファイル等が影響して印刷動作が不安定になる場合があります。『2.10 削除』に記載されている方法で削除することにより、システムからプリンタドライバの関連ファイル及び、レジストリ情報が削除されます。

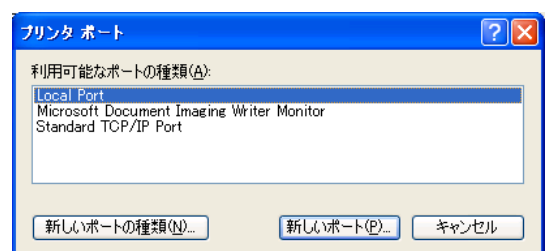
- ◆ プリンタドライバのインストールにて、プリンタの追加ウィザードで「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」を選択するときは、必ずローカルプリンタを選択してください。
ネットワークプリンタとしてバーコードプリンタを使用する場合も、ローカルプリンタとしてインストールした後、印刷先にネットワークパスを指定してご利用ください。

□ 印刷先にネットワークパスを指定する方法

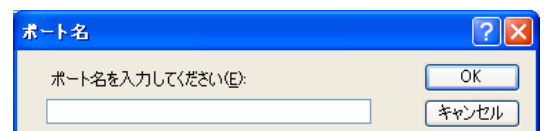
1. プリンタのプロパティから、[ポートの追加] ボタンをクリックします。



2. Local Port を選択し、[新しいポート] をクリックします。



3. ポート名を入力してください。
ポート名：¥<プリンタサーバー名>¥<共有名>
補足：* プリンタサーバー名は、共有プリンタが接続されているコンピュータのコンピュータ名です。
* 共有名は、共有プリンタのプリンタ名です。



- ◆ 本製品のプロパティにて、[双方向通信サポート]の有効／無効を必ず次の図のように指定してください。
初期設定は双方向通信サポートが有効になっています。指定を間違えると正しく印刷できません。

[双方向通信サポート]の有効／無効

[双方向通信サポート]の指定を有効にすることにより、プリンタの状態をコンピュータで監視することができます。本機能が不要でない場合は、下表にて[双方向通信サポート]の指定を無効に指定する条件でご使用ください。プリンタドライバの処理が軽減され印刷効率が向上します。

指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

○：有効 ×：無効

コンピュータとの 接続方法 (I/F)	条件	プリンタ			
		パターン A	パターン B	パターン C	パターン D
RS-232C (*1) (シリアルケーブル)	なし	○／×	○／×	○／×	×
パラレル (プリンタケーブル) IEEE1284規格準拠 (互換／ECP モード)	プリンタの設定 (*2)				
	"CENTRO. MODE"	SPP	×	×	×
	"PLUG & PLAY"	OFF	×	×	×
	"CENTRO. MODE"	ECP	○	非対応	非対応
USB (Ver1.1) USB (Ver2.0)	なし	○／×	○／×	○／×	×
	Standard TCP/IP Port (RAW) 使用時	○／×	○／×	非対応	×
LAN	その他の Port 使用時	×	×	非対応	×

プリンタ対応表

パターン A～D は以下の機種によって区別されています。

パターン A	パターン B	パターン C	パターン D
B-SX5T-TS15	B-SA4TM/TP-TS15 B-SX8R-TS15 B-858-TS25-R B-SK10D B-458-TS25-R B-EP2DL-GH20/30/40-R B-EP4DL-TH30/40-R B-EV4D-GS14-R B-EV4D-TS14-R	B-SV4D-GH10/GC10	B-374-TS15 B-474-TS15 B-874-TS15/TS25 B-419-GS23 B-433-GS15/TS15 B-458-TS13/TS23/TS33 B-484-TS15 B-858-TS15 B-458-HS13 B-SP2D-GH10/20/30/40 B-433-GC35-CSG

*1： RS-232C (シリアルケーブル) を使用して接続した場合、印刷までに時間がかかります。B-419-GS23以外のプリンタの場合には、他の接続方法を推奨します。

*2： プリンタの設定において、“CENTRO. MODE”の設定を「ECP」に指定した場合は、必ず“PLUG & PLAY”の設定を「ON」に指定してください。また、“CENTRO. MODE”の設定を「SPP」に指定した場合は、必ず“PLUG & PLAY”の設定を「OFF」に指定してください。

(プリンタ出荷時は、“CENTRO. MODE”の設定は「SPP」、「PLUG & PLAY」の設定は「OFF」になっています。双方向印刷を行う場合は、“CENTRO. MODE”の設定を「ECP」、「PLUG & PLAY」の設定を「ON」に変更してください。)

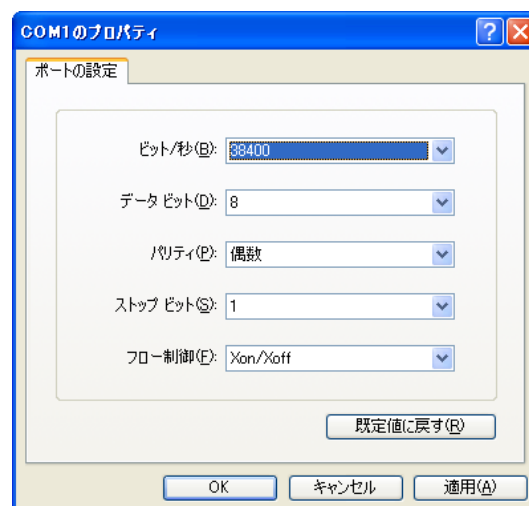
プリンタの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。

- [双方向通信サポート]を有効にしたまま印刷した場合は、印刷ジョブを削除し、[双方向通信サポート]を無効に切り換えた後、コンピュータを再起動してください。

- ステータスマニターを誤って起動した場合は、ステータスマニターを停止し、[双方向通信サポート] を無効に切り換えた後、コンピュータを再起動してください。
- [双方向通信サポート] を無効にすると、[ステータス] プロパティシートの [ロギングオプション] 機能は使用できなくなります。
- [双方向通信サポート] を有効にし、プリンタの状態を監視する場合は、1台のコンピュータに複数のプリンタドライバを同じ出力ポートに指定して、絶対インストールしないでください。
同じ出力ポートを指定する場合には、[双方向通信サポート] を無効にしてご使用ください。
また、複数のプリンタドライバを1台のコンピュータにインストールしてご使用になる場合、印刷するポートを同じポートに指定したプリンタドライバについては、[双方向通信サポート] をすべて無効に設定してください。

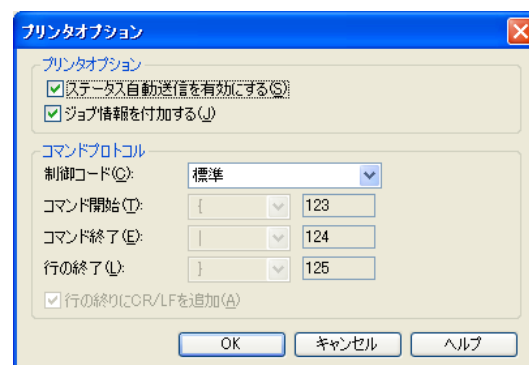
- ◆ B-419を本製品でご利用いただく場合、印刷先のポートは標準 COM ポートを選択してください。
B-419側は、プリンタを“高速グラフィックモード”に指定し、ポートの構成を次の画面のように設定してください。
プリンタ側モード設定方法は、プリンタに付属する取扱説明書をご覧ください。

- ビット／秒 : 38400
- データビット : 8
- パリティ : 偶数
- ストップビット : 1
- フロー制御 : Xon/Xoff



- ◆ バーコードフォントのデータとして、漢字データを使用する場合は、[ツール] - [設定] - [プリンタオプション] - [コマンドプロトコル] - [制御コード] を [ESC / LF / NUL] に設定してください。

- 漢字データが指定できるバーコードフォントのコード種類 PDF417、MicroPDF417、Data Matrix、Maxicode、QR Code
- 本製品をインストールしたときは、[制御コード] が [標準] に設定されています。[標準] のままバーコードデータとして漢字コードを印刷すると、プリンタはエラーとなります。

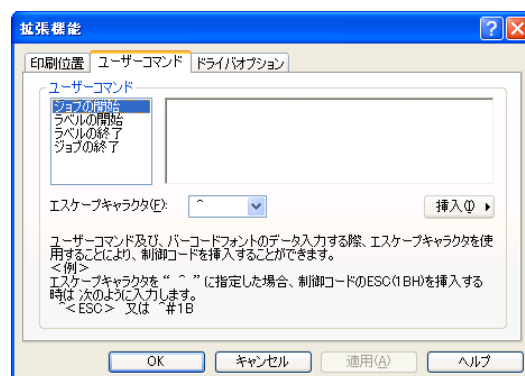


- ◆ B-SP2D、B-EP2DL、B-EP4DL を本製品でご利用いただく場合、プリンタの印刷コマンドモードを“TPCL-LE”、“TPCL-LE1”、“TPCL”、“TPCL1”に指定してください。モード設定は設定ツール、または、キー操作で行なえます。キー操作による設定方法は、プリンタのキー操作マニュアルをご覧ください。

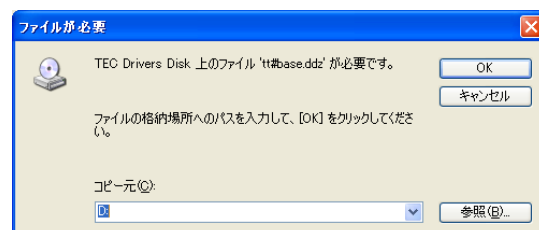
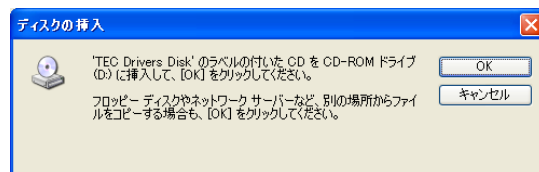
- ◆ 本製品インストール後のエスケープキャラクタのデフォルト設定は、caret [^] (5EH)に設定されます。
QR-Code 等のバーコードフォントを使用する場合、バーコードデータとしてエスケープキャラクタを指定するときは、エスケープキャラクタを2つ続けて指定してください。
例えば、エスケープキャラクタとして、デフォルトの caret [^] をそのまま使用する場合、バーコードデータとして [^] を指定するときは [^][^] と指定してください。



〔用紙〕タブの“高度な設定”ボタンをクリックし、エスケープキャラクタを指定します。エスケープキャラクタは、バーコードデータとしてバイナリデータを指定する場合に使用します。



- ◆ USB 接続によるプラグ＆プレイでの本製品インストール時に〔ディスクの挿入〕、および〔ファイルが必要〕が表示される場合があります。〔ディスクの挿入〕にて〔OK〕をクリック後、〔ファイルが必要〕でコピー元を前準備でセットアップしたフォルダ（C:\TEC_DRV）に指定してインストールを継続してください。



- ◆ デバイスフォントを使用した場合には、実際の印刷結果が、印刷プレビューと異なります。印刷レイアウト作成時には実際に印刷を行い各文字列フィールドの印字位置をご確認ください。
- ◆ 『3.5.2 RFID フォントの編集』機能は、サポート外となっております。
- ◆ B-SX8R-TS15を本製品でご利用いただく場合、ステータスマニターにてプリンタの状態を監視する際には、プリンタの設定において、“ASF STATUS” の設定を「TYPE2」に設定してください。プリンタの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。
- ◆ B-SX8R-TS15を本製品でご利用いただく場合、アプリケーションのページ設定等で指定する印刷ドキュメントの余白と、プリンタドライバの[印刷条件の設定]タブの〔フィード量〕は以下に示す条件でご使用ください。設定しない場合印字位置がズれてしまいます。

印刷の向き	印刷ドキュメントの余白				フィード量
	上	下	左	右	
縦	3 mm 以上	3(7) mm 以上	1 mm 以上	1 mm 以上	0 mm
横	1 mm 以上	1 mm 以上	3(7) mm 以上	3 mm 以上	0 mm
縦180°	3 mm 以上	3(7) mm 以上	1 mm 以上	1 mm 以上	0(4) mm
横180°	1 mm 以上	1 mm 以上	3(7) mm 以上	3 mm 以上	0(4) mm

補足：プリンタのバージョンが V1.4 より前の場合、() 中の値を設定してください。

注意：フィード量は標準値です。実際の印字結果からフィード量を微調整してください。

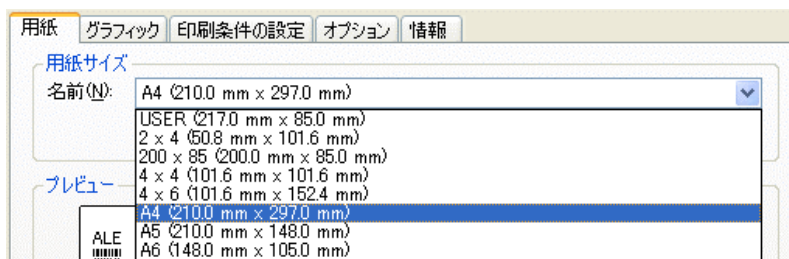
- ◆ 本製品の用紙サイズ A4、A5、A6は DEVMODE の定義名(DMPAPER_A4、DMPAPER_A5、DMPAPER_A6)で定義していません。本製品の用紙サイズ A4、A5、A6は独自の用紙 ID になります。プリンタドライバインストール直後の用紙 ID を示します。DEVMODE 構造体の dmPaperSize による用紙サイズの指定や確認はこの用紙 ID を使用してください。

用紙名	用紙 ID
USER	256
2 x 4	257
4 x 4	258
4 x 6	259
200 x 85	260
A4	261
A5	262
A6	263
JAMA L	267
JAMA M	268
JAMA S	269
Form-F	270
Form-A	271

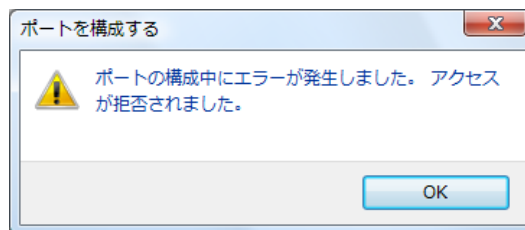
注意：用紙 ID は固定値ではありません。左表はプリンタドライバのインストール直後の値です。新規に用紙を登録した場合には、用紙 ID が違う値に更新される場合があります。

用紙 ID は用紙リストの上から順番に256番から割り振られます。

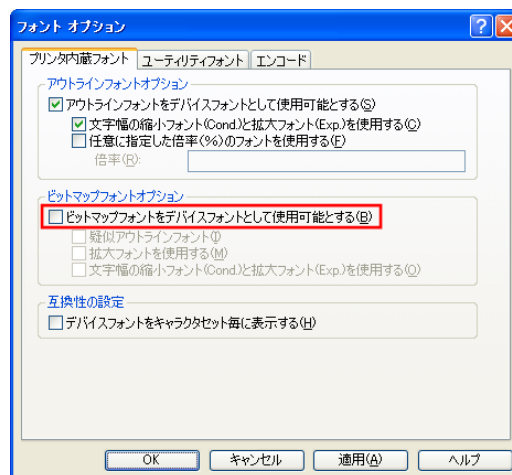
用紙リストは、用紙名の先頭文字により昇順（記号→数値→アルファベット→カナ→漢字）でソートされます。



- ◆ 前のバージョンのエクспортファイルをインポートする場合、プリセットの用紙の設定が引き継がれないことが有ります。プリセットをインポートする場合、インポートされたプリセットの用紙の設定を確認してください。
- ◆ Access2007をご利用いただく場合、用紙の名前が正しく表示されない箇所が有ります。用紙を設定する場合、ページ設定ダイアログの用紙サイズで設定を行ってください。
- ◆ Windows Vista/Server2008で LPT、COM のポートの構成を変更する場合、管理者権限で変更を行ってください。
- ◆ Windows Vista/Server2008で印刷するポートの構成を変更する際、右の画面が表示されることがあります。その場合、管理者権限で変更を行ってください。



- ◆ Access ではビットマップフォントを使用することができません。Access をご利用いただく場合、[フォントオプション] の [ビットマップをデバイスフォントとして使用可能にする] のチェックを外してください。



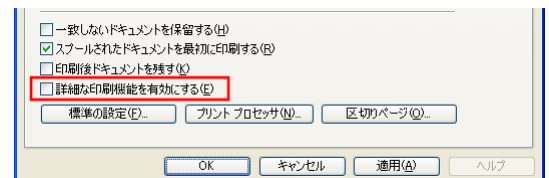
- ◆ 本製品がインストールされた環境に、Seagull Scientific 社が作成した本製品以外のプリンタドライバはインストールしないでください。
インストールしてしまった場合、DriverWizard でアンインストールを行ってから、本製品のみをインストールしてください。

- ◆ 7.1.1 M-1以前のバージョンで使用していた Access のファイルの場合、印刷設定の情報が引継がれないことがあります。
ページ設定で印刷設定を再設定してください。

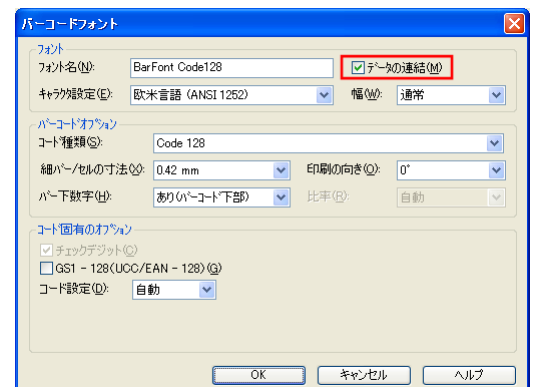
- ① オブジェクトのページ設定を開きます。
- ② [ページ] タブの [印刷: “オブジェクト”] で [通常使うプリンタ] を選択します。
- ③ [OK] ボタンでページ設定を保存します。
- ④ もう一度ページ設定を開きます。
- ⑤ [ページ] タブの [印刷: “オブジェクト”] で [その他のプリンタ] を選択します。
- ⑥ [プリンタの設定] で印刷設定を設定してください。



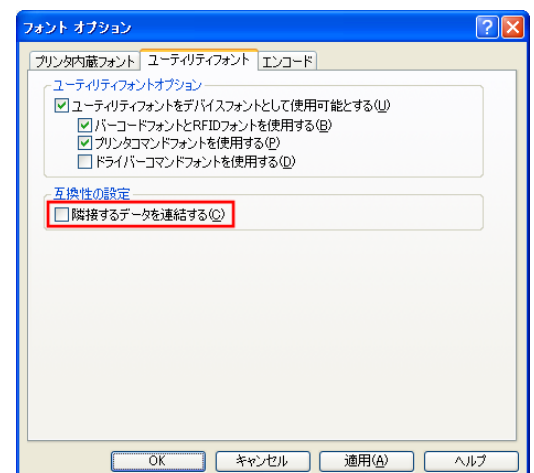
- ◆ Active Reports で作成したアプリケーションから印刷を行う場合、[詳細な印刷機能を有効にする] のチェックを外してください。



- ◆ 桁数が多いデータをバーコードで印字する場合、ページ内に収まらないデータは無効になります。
桁数が多いデータを使用する場合、各バーコードの設定で [データの連結] のチェックを付けてください。
[データの連結] のチェックを付けた場合、バーコードごとにバーコードフォントを作成してください。



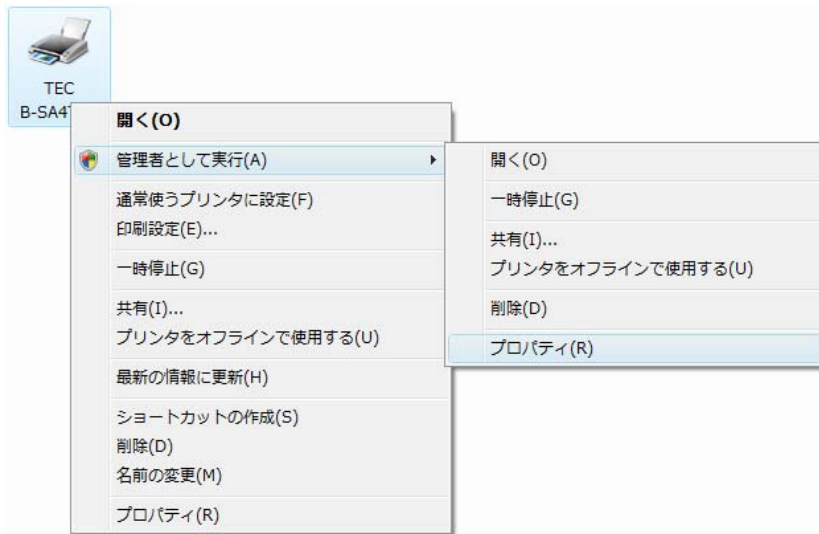
- ◆ 先頭または終端にスペースが入ったデータをバーコードフォントで印字した場合、先頭と終端のスペースがデータから削除されます。
また、同じバーコードフォントに指定され、Y 座標の位置が同じデータは全て連結されます。
回避するために [フォントオプション] の [隣接するデータを連結する] のチェックを外してください。



□ 管理者権限でプロパティを開く方法

Windows Vista/Server2008では一部の設定変更に管理者権限が必要になります。

プリンタのアイコンで右クリックをし、下記の通りメニューを開き、プロパティをクリックしてください。



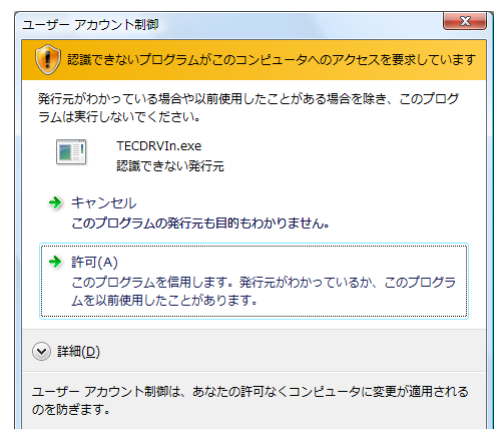
注意：「ユーザーアカウント制御」というタイトルの画面が表示されることがありますが、その場合は「許可」をクリックします。

□ Windows Vista/Server2008の再セットアップをする場合

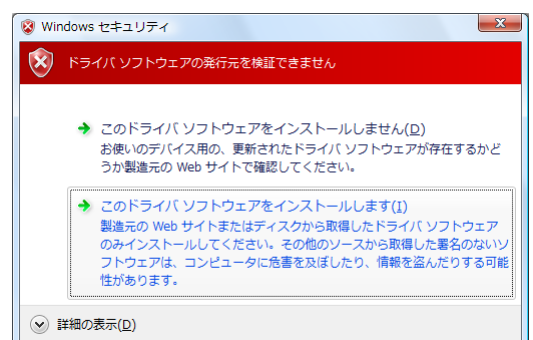
プリンタドライバの削除を行った後、実行してください。また、インストールが手順通り行えない場合も実行してください。

1. 検索の開始で“C:¥TEC_DRV¥TECDRVIn.exe”を入力し、プログラムを起動してください。

注意：「ユーザーアカウント制御」というタイトルの画面が表示されることがありますが、その場合は「許可」をクリックします。



2. 右の画面が表示されますが、その場合は「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



2. インストール手順

ご使用のプリンタの機種とコンピュータとの接続方法により、インストール手順が異なります。該当する項目の手順に従って、プリンタドライバをインストールしてください。

なお、旧バージョンのプリンタドライバが既にインストール済みの場合は、必ずアンインストールを行ってから、コンピュータを再起動後、プリンタドライバをインストールしてください。

→『2.10 削除』を参照してください。

注意：本書ではインストールフォルダを“c:¥”で表現していますが、CD-ROM よりインストールする場合は、お使いのコンピュータ毎でドライブ名が変わります。（例：“d:¥”）

全機種共通

プリンタドライバのインストール前に、『2.1 前準備』の項目を行ってください。

プリンタドライバのインストール方法

○：接続可能 ×：接続不可

プリンタの機種	コンピュータとの接続方法				
	プラグ&プレイを使用しない			プラグ&プレイ	
	RS-232C	LAN	パラレル	USB	パラレル
B-EV4D-GS14-R	○	○	○	○	×
B-EV4D-TS14-R	○	○	○	○	×
B-EP2DL-GH20/30/40	○	○	×	○	×
B-EP4DL-TH30/40	×	○	×	○	×
B-458-TS25-R	○	○	○	○	○
B-SK10D	○	○	○	○	×
B-433-GC35-CSG	○	×	×	×	×
B-858-TS25-R	○	○	○	○	○
B-SX8R-TS15	○	○	○	○	○
B-SA4TM/TP-TS15	○	○	○	○	○
B-SX5T-TS15	○	○	○	○	○
B-SV4D-GH10/GC10	○	○	○	○	×
B-374-TS15	○	○	○	×	×
B-474-TS15	○	○	○	×	×
B-874-TS15/TS25	○	○	○	×	×
B-419-GS23	○	○	○	○	×
B-433-GS15/TS15	○	○	○	×	×
B-458-TS13/TS23/TS33/HS13	○	○	○	×	×
B-484-TS15	○	○	○	×	×
B-858-TS15	○	○	○	×	×
B-SP2D-GH10/20/30/40	○	○	×	×	×

注意：本表はプリンタがサポートしているインターフェースの種類を表すものではありません。

実際のコンピュータとの接続方法から、接続可能（○）を確認後、次ページの『OS 別インストール方法』を参照いただき、該当するインストール方法に従い、プリンタドライバのインストールを行ってください。

OS 別インストール方法

OS	コンピュータとの接続方法				
	プラグ&プレイを使用しない			プラグ&プレイ	
	RS-232C	LAN	パラレル	USB	パラレル (*1)
Windows 2000	2.2 Windows 2000/XP/Server2003 へのインストール			2.4 Windows 2000へのイン ストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)	2.7 Windows 2000へのインスト ール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)
Windows XP				2.5 Windows XP/Server2003 へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)	2.8 Windows XP/Server2003へ のインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)
Windows Server 2003					
Windows Vista	2.3 Windows Vista/Server2008へ のインストール			2.6 Windows Vista/Server20 08へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)	2.9 Windows Vista/Server2008 へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)
Windows Server 2008					

*1: プラグ&プレイで、パラレル接続の場合には、プリンタ側の設定が必要です。パラレル接続時のプラグ&プレイの初期値は無効に設定されています。

パラレル接続時（プラグ&プレイを使用して本製品をインストールする場合）のプリンタ側の設定

◆ <B-SX5T-TS15の場合>

プリンタのパラメータ設定にて“<2>PARAMETER SET”の“CENTRO. MODE”を“ECP”に、“PLUG & PLAY”を“ON”に設定してください。パラレルインターフェース接続にて次の機能が有効になります。

- プラグ&プレイ機能によるプリンタドライバのインストール。
- プリンタの状態監視。
➔ 『3.6 バーコードプリンタの動作確認』のステータスウィンドウの表示オプション(P67)を参照してください。

プリンタ出荷時は、“CENTRO. MODE”の設定は「SPP」、「PLUG & PLAY」の設定は「OFF」になっています。双方向印刷を行う場合は、“CENTRO. MODE”の設定を“ECP”、“PLUG & PLAY”の設定を“ON”に変更してください。プリンタの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照ください。

◆ <B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-458-TS25-Rの場合>

プリンタのパラメータ設定にて“<2>PARAMETER SET”の“PLUG & PLAY”を“ON”に設定してください。

パラレルインターフェース接続にて次の機能が有効になります。

- プラグ&プレイ機能によるプリンタドライバのインストール。

プリンタ出荷時は、“PLUG & PLAY”の設定は「OFF」になっています。また、プリンタの状態監視機能は使用できませんので、本製品のプロパティにて、[双方向通信サポート]を無効に指定してください。

2.1 前準備

2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合

1. プリンタドライバをセットアップするコンピュータを起動します。
注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。
2. プリンタドライバ セットアップ用 CD-ROM「START UP CD-ROM」を CD ドライブに挿入します。
 - CD-ROM が自動起動しない場合は、CD-ROM のフォルダ内にある“Start.exe”をダブルクリックしてください。
3. 「プリンタドライバ」をクリックします。
4. 「プリンタドライバのインストール」をクリックします。
5. 「ソフトウェア使用許諾」が表示されますので、同意してインストールする場合は「同意します」をクリックしてください。
 - 「同意しません」をクリックした場合は手順3に戻り、本機能はご利用できません。
6. プリンタの追加ウィザードが表示されます
 - Windows 2000/XP/Server2003をお使いの方は →『2.2 Windows 2000/XP/Server2003へのインストール』の手順4(P16)
 - Windows Vista/Server2008をお使いの方は →『2.3 Windows Vista/Server2008へのインストール』の手順4(P21)へ進んでください。

注意：プラグ&プレイ機能を使用してプリンタドライバをインストールする場合は、手順6で表示される「プリンタの追加ウィザード」画面で「キャンセル」をクリックし、終了してください。その後、『OS 別インストール方法 (P12)』に従ってインストールをしてください。

2.1.2 ホームページからダウンロードする場合

注意：START UP CD-ROM でインストールする場合、本作業は必要ありません。

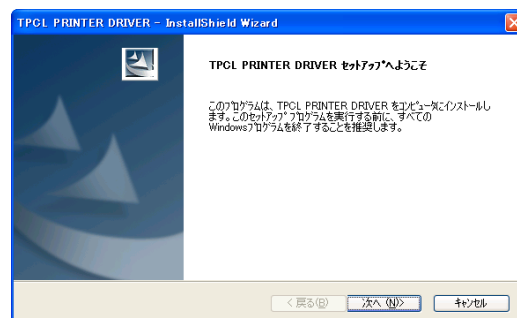
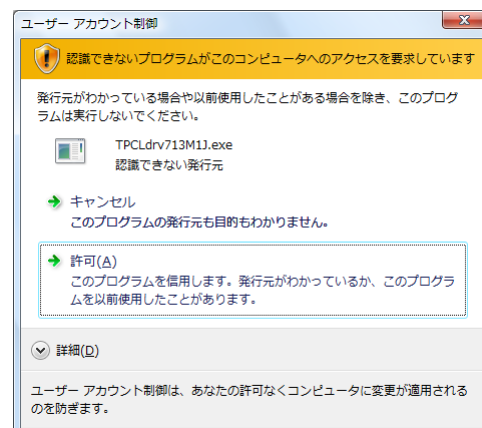
1. 下記弊社ホームページからプリンタドライバのインストール用ファイル「TPCLdrv716M1J.exe」をローカルディスクにダウンロードします。

➤ URL アドレス：<http://barcode.toshibatec.co.jp/Jpn/download/index.htm>

注意：ホームページ上に記載されておりますソフトウェア使用許諾契約に同意されない場合は、ダウンロードできませんのでご了承ください。

2. ダウンロードした「TPCLdrv716M1J.exe」をダブルクリックすると、「TPCL PRINTER DRIVER – InstallShield Wizard」を起動しますので、[次へ] をクリックします。

注意：Windows Vista/Server2008で、「ユーザーアカウント制御」というタイトルの画面が表示されることがありますが、その場合は[許可] をクリックします。



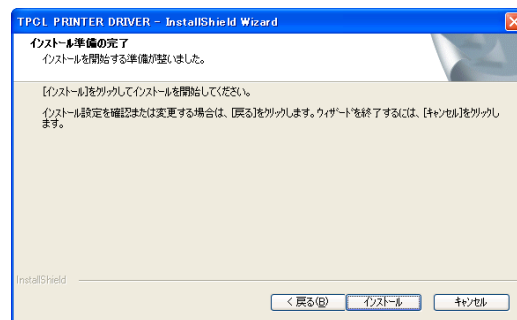
3. 「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されますので、「使用許諾契約書の全項目に同意します」を選択し、[次へ] をクリックします。

注意：契約に同意いただけない場合は、本製品はご利用できません。

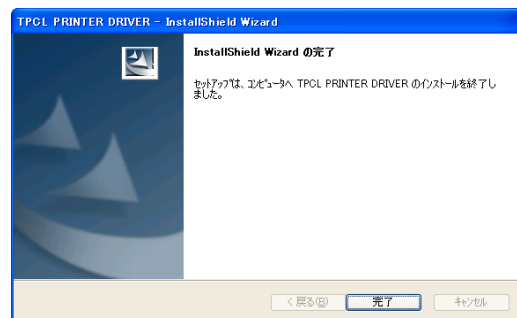


4. [インストール] をクリックすると、プリンタドライバのインストール用ファイルを“C:¥TEC_DRV”に作成します。

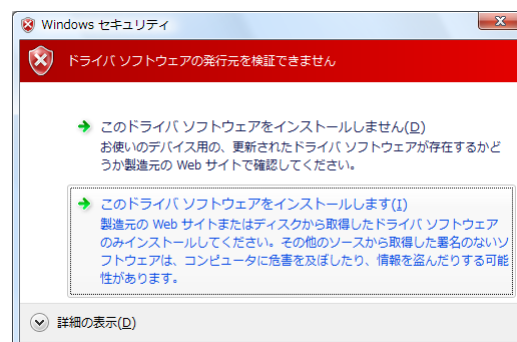
注意：フォルダ名は“C:¥TEC_DRV”で固定されています。変更できませんのでご注意ください。



5. インストールが終了したら[完了]をクリックします。



注意：Windows Vista/Server2008で右の画面が表示されますが、その場合は「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



2.2 Windows 2000/XP/Server2003へのインストール

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、この項目の手順4に進んでください。

1. Windows 2000、Windows XP または Windows Server 2003を起動します。

注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。

2. [スタート] – [プリンタと FAX] を選択し、[プリンタ] フォルダを表示します。

補足：Windows 2000の場合、[スタート] – [設定(S)] – [プリンタ(P)] を選択します。

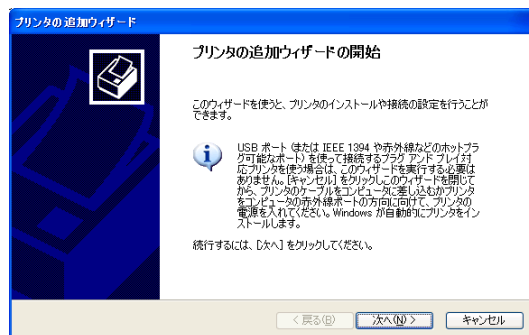
[プリンタと FAX] フォルダが見当たらない場合は[コントロールパネル(C)] をクリックし、[プリンタと FAX] フォルダを選択してください。

カテゴリ表示の場合は、「プリンタとその他のハードウェア」をクリックし、[プリンタと FAX] フォルダを選択してください。

3. [ファイル(F)] – [プリンタの追加(A)] をクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。

4. 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示したら、[次へ(N)] をクリックします。

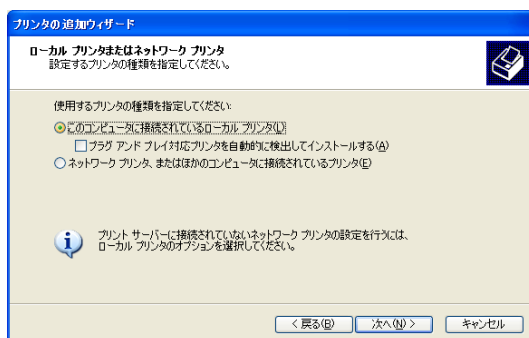
補足：START UP CD-ROM をお使いの場合、前準備が完了すると、この画面に移動します。



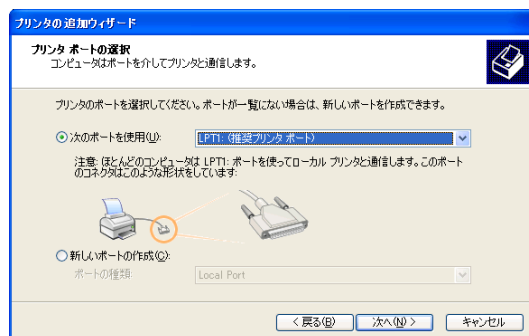
5. “このコンピュータに接続されているローカルプリンタ(L)”を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

注意：“プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする(A)”は、チェックしないでください。

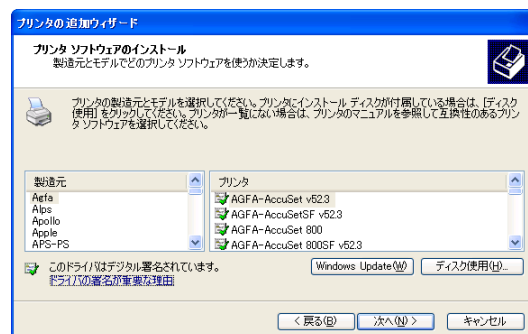
ネットワークプリンタや他の PC 接続されたプリンタを指定する場合も、必ず、ローカルプリンタを選択してください。インストール終了後に設定を変更します。(『共有プリンタにて印刷する場合』を参照してください。)



6. プリンタに使用するポートを選択し、[次へ(N)] をクリックします。

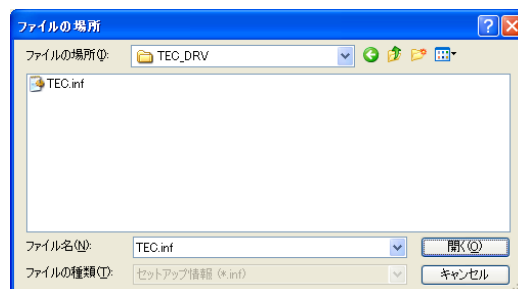


7. 製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)] をクリックします。



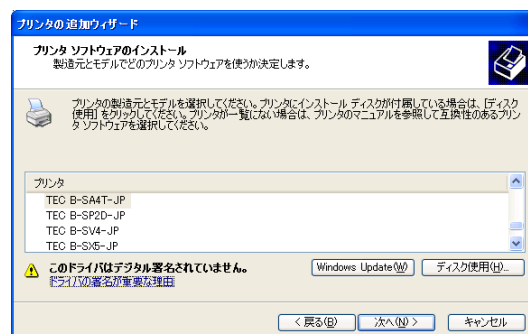
8. 『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:¥TEC_DRV) を指定^{(*)1}し [開く(O)] をクリックします。TEC.inf を選択して [OK] をクリックします。

*1: START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ (¥TEC_DRV) を指定します。



9. インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

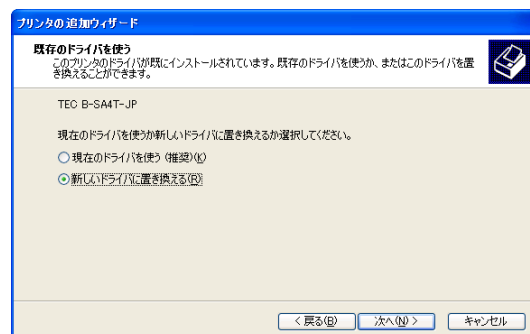
- | | |
|---------------------|------------------------------|
| * TEC B-374: | B-374-TS15 |
| * TEC B-433: | B-433-GS15 |
| * TEC B-433T: | B-433-TS15 |
| * TEC B-458: | B-458-TS13 / TS23 |
| * TEC B-458H: | B-458-HS13 |
| * TEC B-474: | B-474-TS15 |
| * TEC B-484: | B-484-TS15 |
| * TEC B-858: | B-858-TS15 |
| * TEC B-874: | B-874-TS15 / TS25 |
| * TEC B-419G: | B-419-GS23 |
| * TEC B-SX5-JP: | B-SX5T-TS15 |
| * TEC B-SV4-JP: | B-SV4-GH10 / GC10 |
| * TEC B-SP2D-JP: | B-SP2D-GH10 / 20 / 30 / 40 |
| * TEC B-SA4T-JP: | B-SA4TM / TP-TS15 |
| * TEC B-SA4G-JP: | B-SA4TM / TP-TS15(203dpi) |
| * TEC B-SX8R-JP: | B-SX8R-TS15 |
| * TEC B-858-R: | B-858-TS25-R |
| * TEC B-433-CSG: | B-433-GC35-CSG |
| * TEC B-SK10D-JP: | B-SK10D |
| * TEC B-458-R: | B-458-TS25-R |
| * TEC B-EP2DL-G-JP: | B-EP2DL-GH20-R / 30-R / 40-R |
| * TEC B-EP4DL-T-JP: | B-EP4DL-GH30-R / 40-R |
| * TEC B-EV4-G: | B-EP4D-GS14-R |
| * TEC B-EV4-T: | B-EP4D-TS14-R |



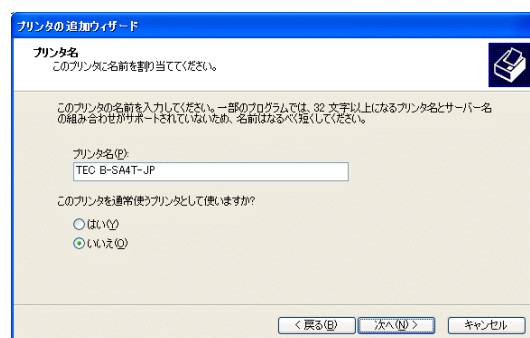
10. インストールする機種を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

11. “新しいドライバに置き換える(R)”を選択し、[次へ(N)]をクリックします。

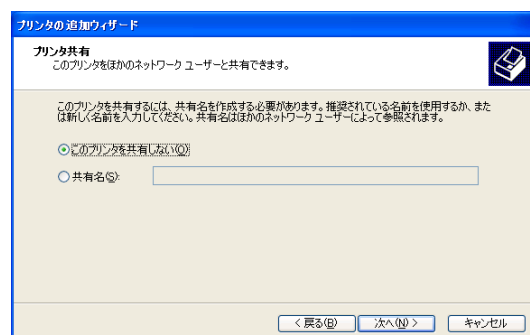
補足：初めてインストールする場合、この操作は省略されます。



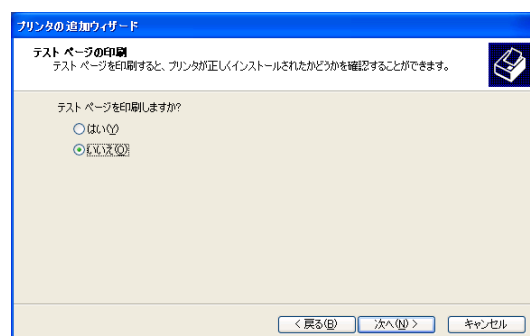
12. 通常使うプリンタとして使用するか否かを選択し、[次へ(N)]をクリックします。



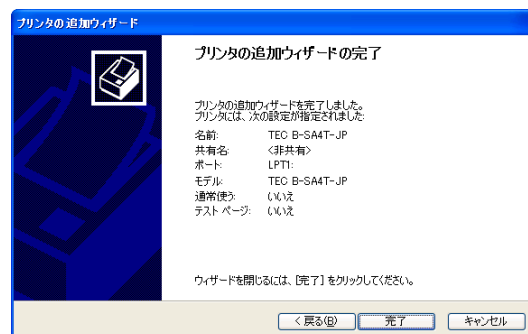
13. ネットワーク上のほかのユーザーとプリンタを共有するか否かを選択し、[次へ(N)]をクリックします。



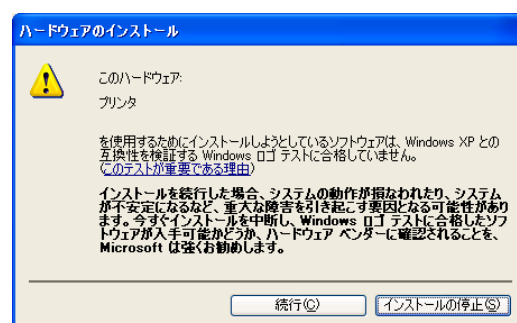
14. テストページの印刷をするか否かを選択し、[次へ(N)]をクリックします。



15. 「プリンタの追加ウィザードの完了」画面にて、[完了] をクリックします。



16. 右の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 注意: 「デジタル署名が見つかりませんでした」というタイトルの画面が表示されることがありますが、その場合は「はい」をクリックします。



17. インストールが開始します。

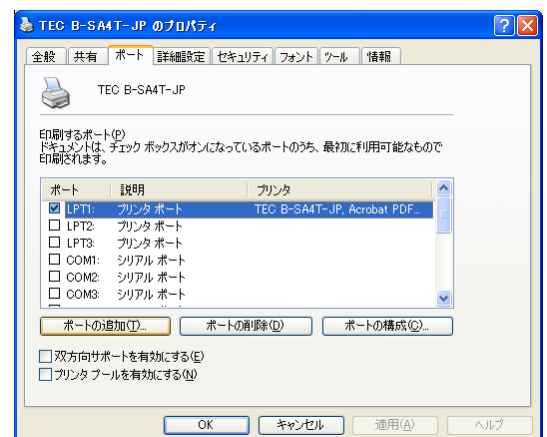
18. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

■ 共有プリンタにて印刷する場合

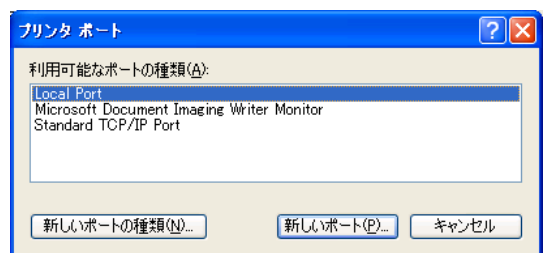
1. 前述の手順1～18を行います。
2. 新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックしてプロパティを開きます。



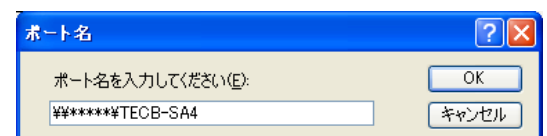
3. [ポート] を選択し、[ポートの追加(T)] をクリックします。



4. “Local Port” を選択し、[新しいポート(P)] をクリックします。



5. 共有設定したプリンタのネットワークパス（例：¥¥*****¥T ECB-SA4）を入力し、[OK] をクリックします。



6. ポートの設定が終了したら、[OK] をクリックしてプロパティを閉じます。
注意：本製品のインストール後は、必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.3 Windows Vista/Server2008へのインストール

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、この項目の手順4に進んでください。

手順通りインストールができない場合、『Windows Vista/Server2008の再セットアップをする場合』を行ってください。

1. Windows Vista または Windows Server 2008を起動します。

注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。

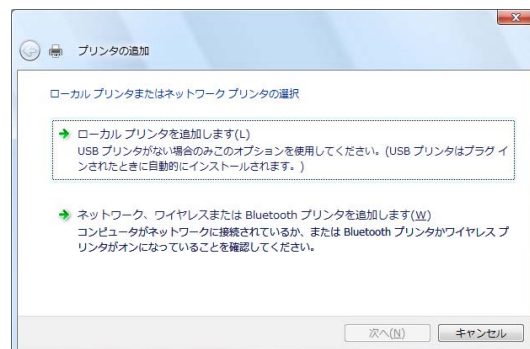
2. [スタート] – [コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] – [プリンタ] を選択し、[プリンタ] フォルダを表示します。

補足：[検索の開始] で“プリンタ”と入力すると、プログラムで[プリンタ]が表示されます。

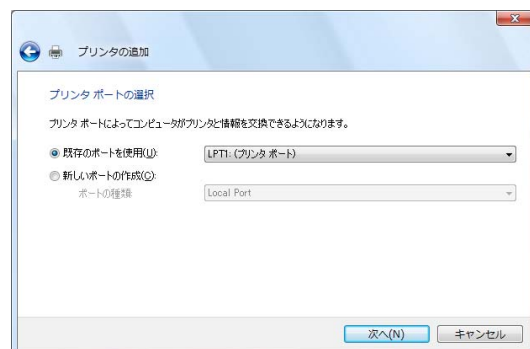
3. [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加を開始します。

4. “ローカルプリンタを追加します(L)” を選択します。

補足：START UP CD-ROM をお使いの場合、前準備が完了すると、この画面に移動します。



5. プリンタに使用するポートを選択し、[次へ(N)] をクリックします。

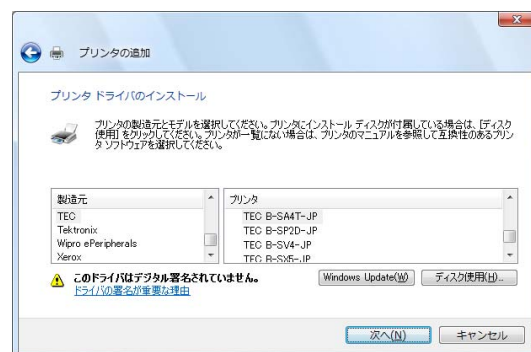


6. 製造元とプリンタの一覧が表示されたら、製造元のリストで“TEC”を選択します。



7. インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

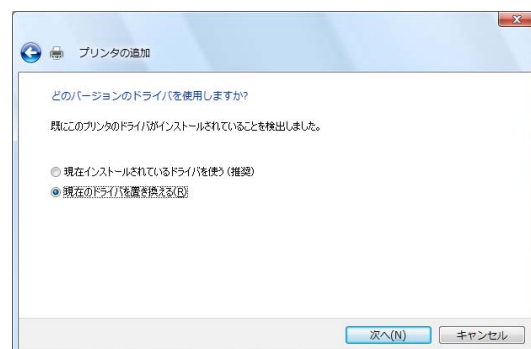
- * TEC B-374: B-374-TS15
- * TEC B-433: B-433-GS15
- * TEC B-433T: B-433-TS15
- * TEC B-458: B-458-TS13 / TS23
- * TEC B-458H: B-458-HS13
- * TEC B-474: B-474-TS15
- * TEC B-484: B-484-TS15
- * TEC B-858: B-858-TS15
- * TEC B-874: B-874-TS15 / TS25
- * TEC B-419G: B-419-GS23
- * TEC B-SX5-JP: B-SX5T-TS15
- * TEC B-SV4-JP: B-SV4-GH10 / GC10
- * TEC B-SP2D-JP: B-SP2D-GH10 / 20 / 30 / 40
- * TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- * TEC B-SA4G-JP: B-SA4TM / TP-TS15(203dpi)
- * TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- * TEC B-858-R: B-858-TS25-R
- * TEC B-433-CSG: B-433-GC35-CSG
- * TEC B-SK10D-JP: B-SK10D
- * TEC B-458-R: B-458-TS25-R
- * TEC B-EP2DL-G-JP: B-EP2DL-GH20 / 30 / 40-R
- * TEC B-EP4DL-T-JP: B-EP4DL-GH30 / 40-R
- * TEC B-EV4-G: B-EP4D-GS14-R
- * TEC B-EV4-T: B-EP4D-TS14-R



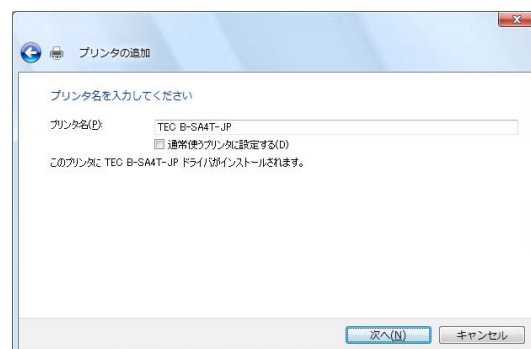
8. インストールする機種を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

9. “新しいドライバに置き換える(R)” を選択し、[次へ(N)] をクリックします。

補足：初めてインストールする場合、この操作は省略されます。

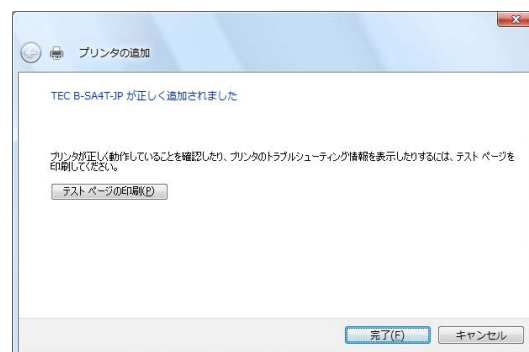


10. プリンタ名と通常使うプリンタとして使用するか否かを設定し、[次へ(N)] をクリックします。



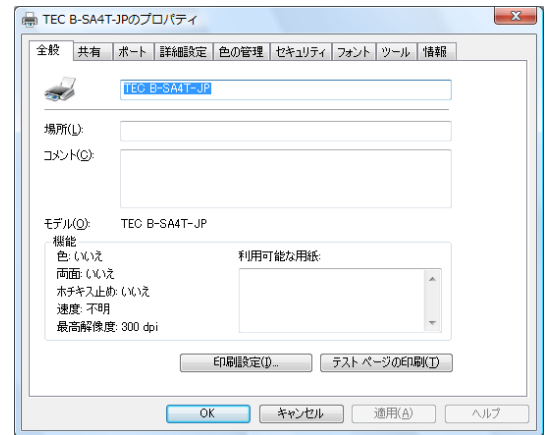
11. インストールが開始します。

12. インストールが終了すると、プリンタの追加の完了画面が表示されます。このとき、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。[完了(F)] をクリックします。テストページの印刷をする場合、[テストページの印刷(P)] をクリックしてください。



■ 共有プリンタにて印刷する場合(1)

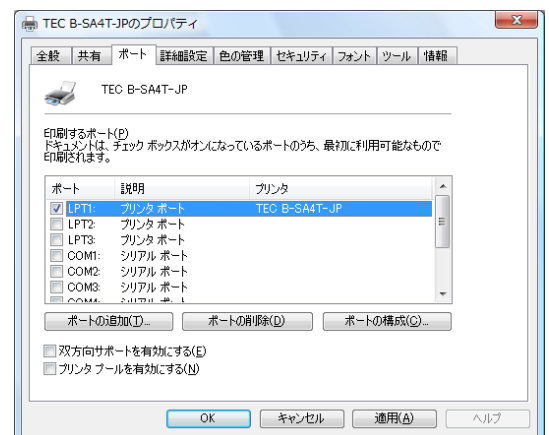
1. 前述の手順1～12を行います。
2. 新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックしてプロパティを開きます。



3. [ポート] を選択し、[双方向サポートを有効にする(E)] のチェックを外します。[ポートの追加(T)] をクリックします。

注意：本製品のインストール後は、必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。

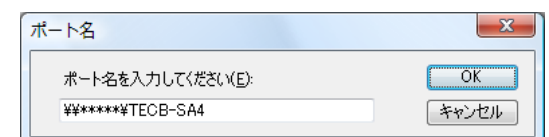
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。



4. “Local Port” を選択し、[新しいポート(P)] をクリックします。



5. 共有設定したプリンタのネットワークパス（例：¥¥*****¥T ECB-SA4）を入力し、[OK] をクリックします。



6. ポートの設定が終了したら、[OK] をクリックしてプロパティを閉じます。

■ 共有プリンタにて印刷する場合(2)

注意：本製品と異なるバージョンのプリンタドライバが既にインストールされていた場合、『プリンタドライバの削除』を行った後、インストールをしてください。

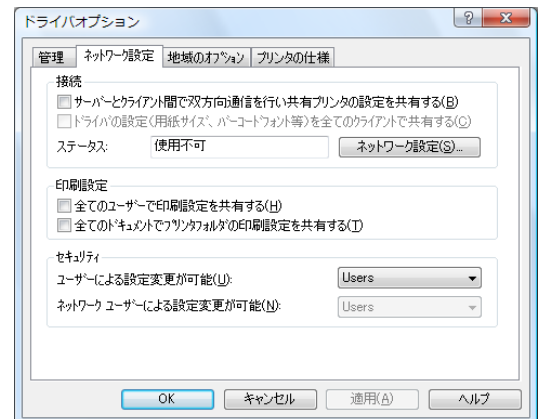
サーバーPC とクライアント PC は同じバージョンのプリンタドライバを使用してください。

◇インストールを行う前に

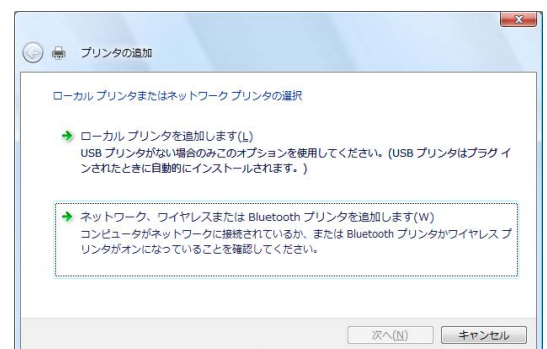
サーバーPC にインストールするプリンタドライバは、Windows Vista/Server2008対応されているバージョンを使用してください。

クライアント PC でのインストール／アンインストールは、ユーザーアカウントごとに行ってください。

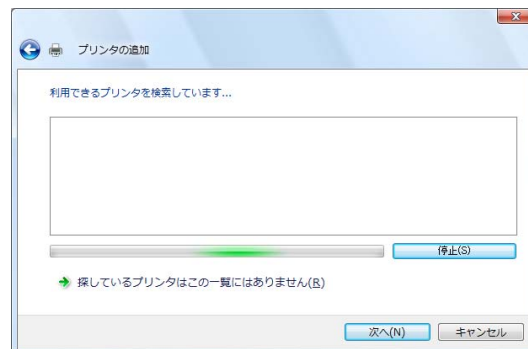
サーバーPC の共有するプリンタドライバで、ネットワーク設定の接続のチェックを右の画面の通りに設定してください。



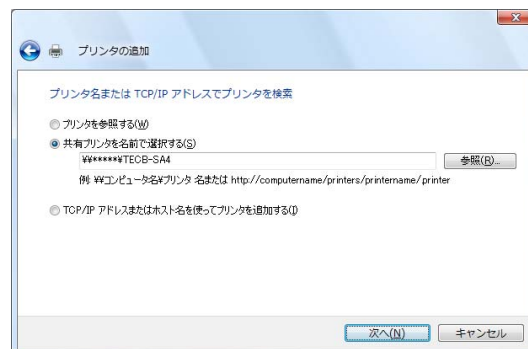
1. Windows Vista または Windows Server 2008を起動します。
注意：実際にプリンタドライバを使用するユーザー名でログインしてください。
2. 『2.1 前準備』の項目を行います。
3. [スタート] – [コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] – [プリンタ] を選択し、[プリンタ] フォルダを表示します。
補足：[検索の開始] で“プリンタ”と入力すると、プログラムで[プリンタ]が表示されます。
4. [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加を開始します。
5. “ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します(W)”を選択します。
補足：START UP CD-ROM をお使いの場合、前準備が完了すると、この画面に移動します。



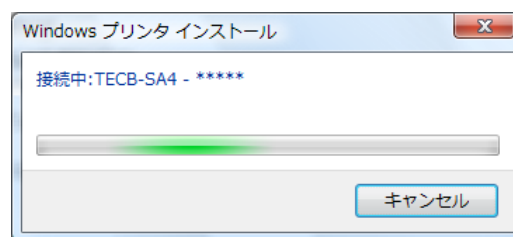
6. 「探しているプリンタはこの一覧にはありません(R)」をクリックします。



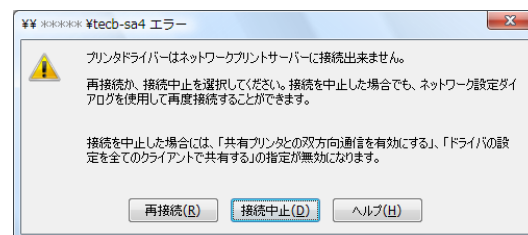
7. “共有プリンタを名前を選択する(S)”を選択し、共有設定したプリンタのネットワークパス（例：¥¥*****¥TECB-SA4）を入力し、[OK] をクリックします。



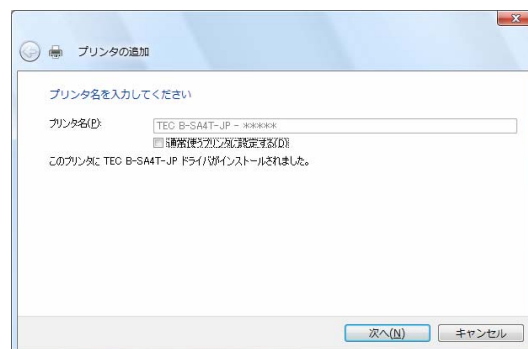
8. インストールが開始します。



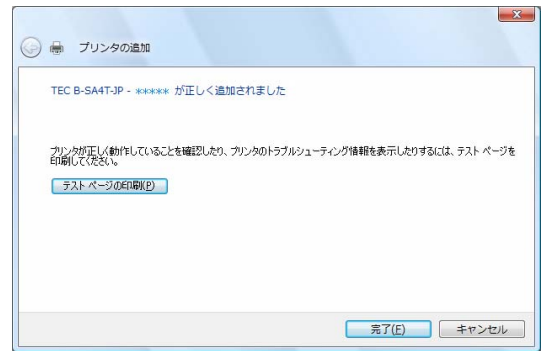
補足：インストール後、右の画面が表示された場合、[接続中止 (D)] をクリックしてください。



9. プリンタ名と通常使うプリンタとして使用するか否かを設定し、[次へ(N)] をクリックします。



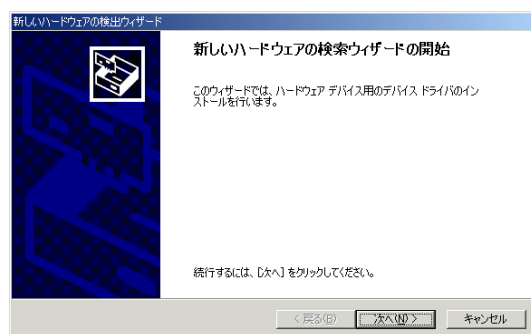
10. インストールが終了すると、プリンタの追加の完了画面が表示されます。このとき、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。[完了(F)] をクリックします。テストページの印刷をする場合、[テストページの印刷(P)] をクリックしてください。



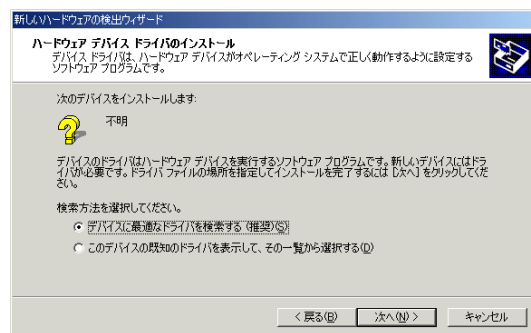
2.4 Windows 2000へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROM メイン画面」を終了してください。

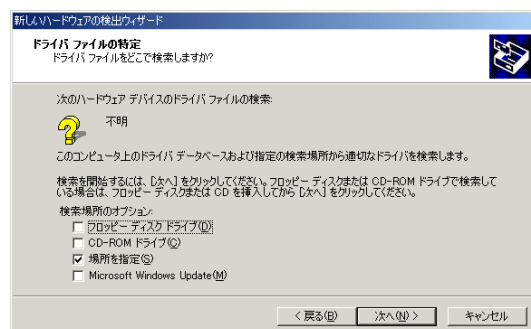
1. Windows 2000を起動します。
注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。
2. 電源を入れたプリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。
3. “USB DEVICE” が検出され、“USB 印刷サポート” が自動的にインストールされます。
4. しばらくすると、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。



5. “デバイスに最適なドライバを検索する” を選択し、[次へ] をクリックします。

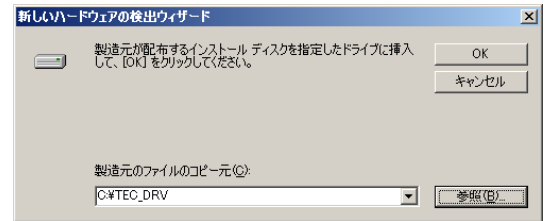


6. “場所を指定” をチェックし、[次へ] をクリックします。



7. [参照] をクリックします。
『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:\¥TEC_DRV) を指定*1し、[次へ] をクリックします。

*1: START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ (¥TEC_DRV) を指定します。

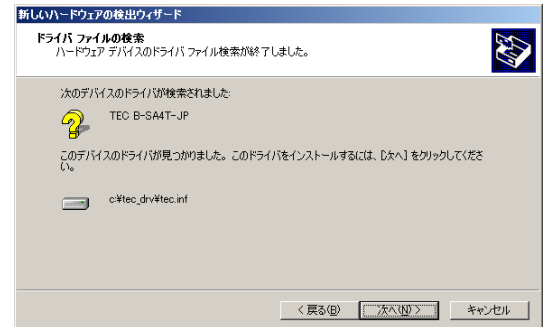


8. このデバイスのドライバが検索されたことを確認し、[次へ] をクリックします。

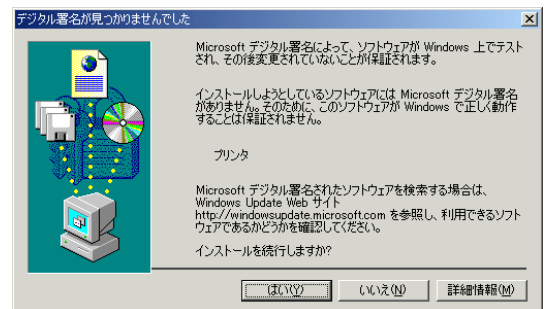
デバイスのドライバ名

- * TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- * TEC B-SA4G-JP: B-SA4TM / TP-TS15(203dpi)
- * TEC B-SV4-JP: B-SV4-GH10 / GC10
- * TEC B-SX5-JP: B-SX5T-TS15
- * TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- * TEC B-419-CS: B-419-GS23
- * TEC B-858-R: B-858-TS25-R
- * TEC B-SK10D-JP: B-SK10D
- * TEC B-458-R: B-458-TS25-R
- * TEC B-EP2DL-G-JP: B-EP2DL-GH20 / 30 / 40-R
- * TEC B-EP4DL-T-JP: B-EP4DL-GH30 / 40-R
- * TEC B-EV4-G: B-EP4D-GS14-R
- * TEC B-EV4-T: B-EP4D-TS14-R

➤ “TEC B-SA4T-JP” をインストールするときの表示画面です。

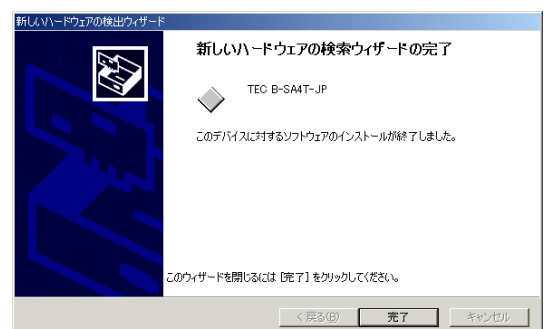


9. 右の画面が表示されたら、[はい] をクリックします。



10. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、[完了] をクリックします。

➤ “TEC B-SA4T-JP” をインストールするときの表示画面です。



11. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意: TEC B-419G の場合、本製品のインストール後は、必ず [双方向通信サポート] を無効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.5 Windows XP/Server2003へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROM メイン画面」を終了してください。

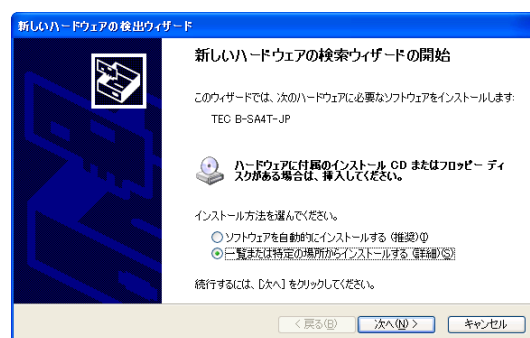
1. Windows XP/Server2003を起動します。
注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。
2. 電源を入れたプリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。
3. “USB DEVICE” が検出され、“USB 印刷サポート” が自動的にインストールされます。
4. しばらくすると、新しいデバイスが検出されます。

新しいデバイス名

- * TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- * TEC B-SA4G-JP: B-SA4TM / TP-TS15(203dpi)
- * TEC B-SV4-JP: B-SV4-GH10 / GC10
- * TEC B-SX5-JP: B-SX5T-TS15
- * TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- * TEC B-419-CS: B-419-GS23
- * TEC B-858-R: B-858-TS25-R
- * TEC B-SK10D-JP: B-SK10D
- * TEC B-458-R: B-458-TS25-R
- * TEC B-EP2DL-G-JP: B-EP2DL-GH20 / 30 / 40-R
- * TEC B-EP4DL-T-JP: B-EP4DL-GH30 / 40-R
- * TEC B-EV4-G: B-EP4D-GS14-R
- * TEC B-EV4-T: B-EP4D-TS14-R

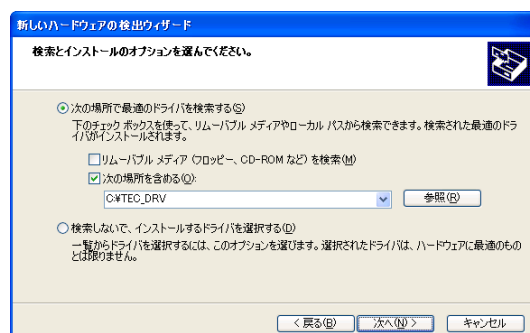
5. [新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されますので、“一覧または特定の場所からインストールする”を選択し、[次へ] をクリックします。

➤ “TEC B-SA4T-JP” をインストールするときの表示画面です。

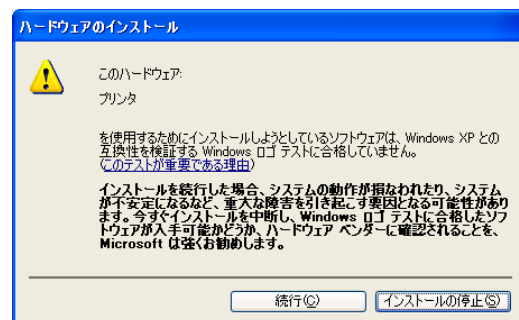


6. “次の場所で最適なドライバを検索する”で、“次の場所を含める”をチェックし、[参照] をクリックします。
『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:\¥TEC_DRV) を指定*1し、[次へ] をクリックします。

*1： START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ (¥TEC_DRV) を指定します。

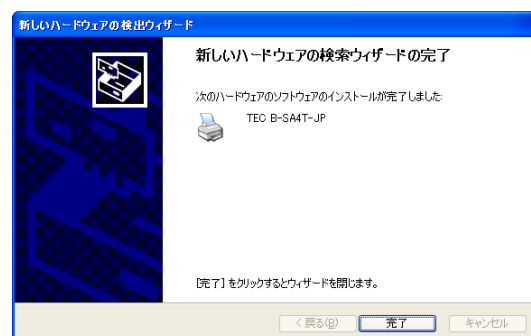


7. 右の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。



8. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、[完了] をクリックします。

➤ “TEC B-SA4T-JP” をインストールするときの表示画面です。



9. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意：TEC B-419G の場合、本製品のインストール後は、必ず[双方向通信サポート]を無効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.6 Windows Vista/Server2008へのインストール (USB 接続・プラグ&プレイ インストール)

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールすることはできません。必ず、前もってセットアップを実行してください。

手順通りインストールができない場合、『Windows Vista/Server2008の再セットアップをする場合』を行ってください。

1. Windows Vista または Windows Server 2008を起動します。
注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。
2. 電源を入れたプリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。
3. デバイスドライバソフトウェアのインストールが自動的に開始されます。
4. しばらくすると、プリンタドライバのインストールが終了します。
5. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意：TEC B-419G の場合、本製品のインストール後は、必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.7 Windows 2000へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する 場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROM メイン画面」を終了してください。

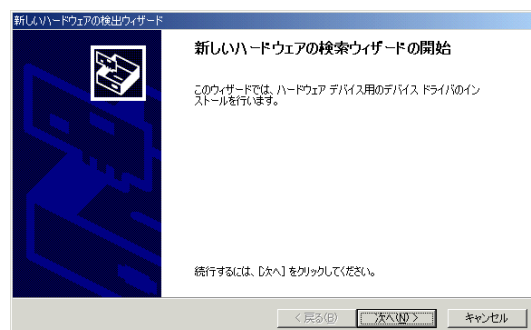
1. プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. プリンタのパラメータ設定を行います。
 - <B-SX5T-TS15の場合>
プリンタのパラメータ設定で“<2>PARAMETER SET”の“CENTRO. MODE”を“ECP”に、“PLUG & PLAY”を“ON”に設定します。
 - <B-SA4TM / TP-TS15またはB-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-458-TS25-Rの場合>
プリンタのパラメータ設定で“<2>PARAMETER SET”の“PLUG & PLAY”を“ON”に設定します。

注意：パラメータ設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。

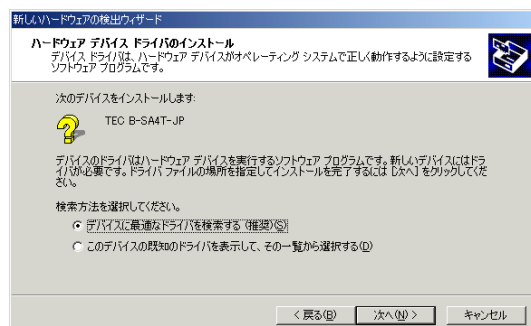
4. コンピュータの電源を入れてください。

注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。

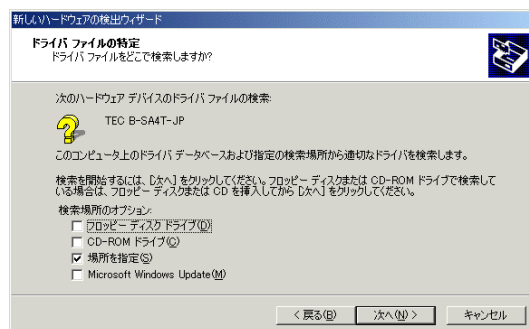
5. システム起動後、新しいハードウェアが検出されます。
[新しいハードウェアの検出ウィザードの開始]画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。



6. “デバイスに最適なドライバを検索する”を選択し、[次へ]をクリックします。

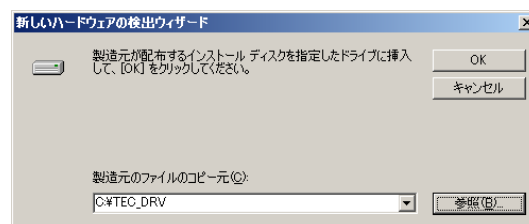


7. “場所を指定” をチェックし、[次へ] をクリックします。



8. [参照] をクリックし、製造元のファイルのコピー元に『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:\¥TEC_DRV) を指定^{(*)1}し、[次へ] をクリックします。

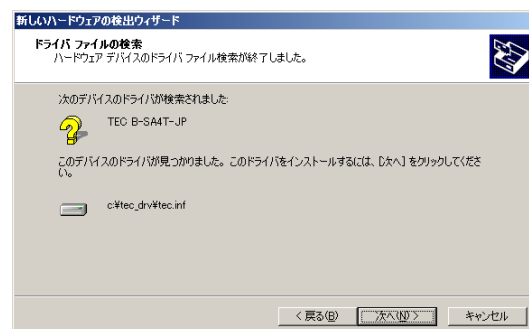
*1: START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ (¥TEC_DRV) を指定します。



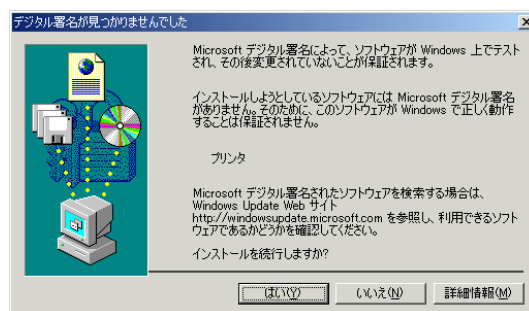
9. 対象のドライバが検索されたことを確認し、[次へ] をクリックします。

デバイスのドライバ名

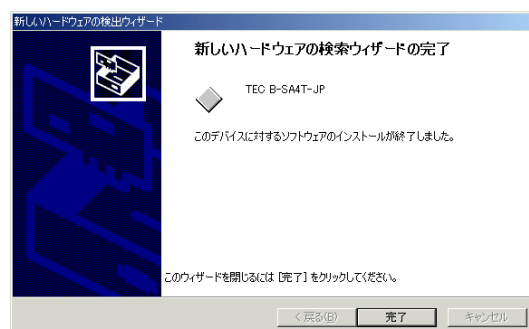
- * TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- * TEC B-SA4G-JP: B-SA4TM / TP-TS15(203dpi)
- * TEC B-SX5-JP: B-SX5T-TS15
- * TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- * TEC B-858-R: B-858-TS25-R
- * TEC B-458-R: B-458-TS25-R
- * TEC B-EP2DL-G-JP: B-EP2DL-GH20 / 30 / 40-R
- * TEC B-EP4DL-T-JP: B-EP4DL-GH30 / 40-R
- * TEC B-EV4-G: B-EP4D-GS14-R
- * TEC B-EV4-T: B-EP4D-TS14-R



10. 右の画面が表示されたら、[はい] をクリックします。



11. 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了が表示されたら、[完了] をクリックします。



12. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意：TEC B-SX5-JP 以外の場合、本製品のインストール後に必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.8 Windows XP/Server2003へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROM メイン画面」を終了してください。

1. プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。

2. プリンタの電源を入れます。

3. プリンタのパラメータ設定を行います。

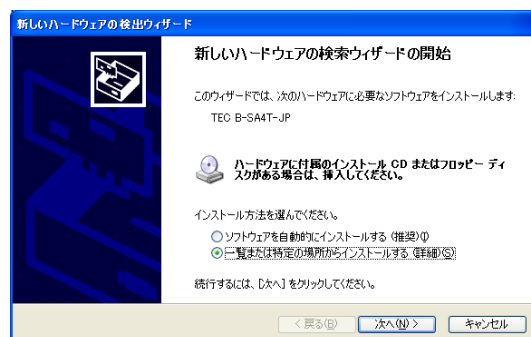
- <B-SX5T-TS15の場合>
プリンタのパラメータ設定で“<2>PARAMETER SET”の“CENTRO. MODE”を“ECP”に、“PLUG & PLAY”を“ON”に設定します。
- <B-SA4TM / TP-TS15またはB-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-458-TS25-Rの場合>
プリンタのパラメータ設定で“<2>PARAMETER SET”の“PLUG & PLAY”を“ON”に設定します。

注意：パラメータ設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。

4. コンピュータの電源を入れてください。

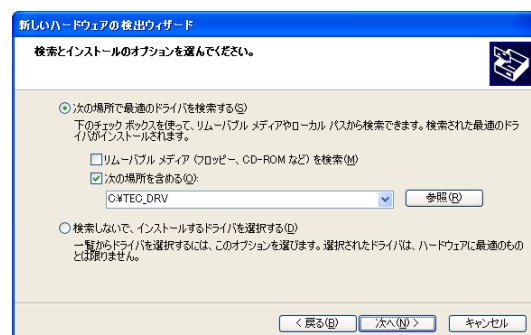
注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。

5. システム起動後、新しいハードウェアが検出されます。
[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されますので、“一覧または特定の場所からインストールする”を選択し、[次へ]をクリックします。

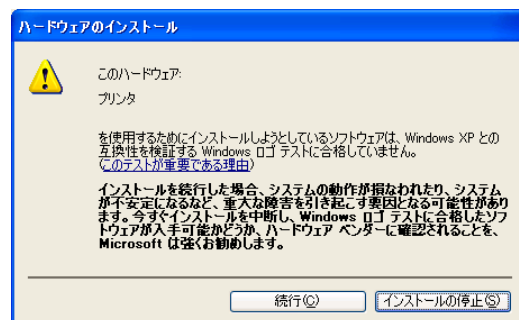


6. “次の場所で最適なドライバを検索する”で、“次の場所を含める”をチェックし、[参照]をクリックします。
『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:¥TEC_DRV) を指定^{(*)1}し、[次へ]をクリックします。

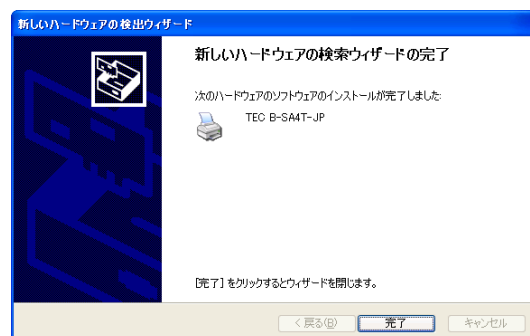
*1： START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ (¥TEC_DRV) を指定します。



7. 右の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。



8. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、[完了] をクリックします。



9. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意：TEC B-SX5-JP 以外の場合、本製品のインストール後に必ず「双方向通信サポート」を有効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.9 Windows Vista/Server2008へのインストール (パラレル接続・プラグ&プレイ インストール)

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールすることはできません。必ず、前もってセットアップを実行してください。

手順通りインストールができない場合、『Windows Vista/Server2008の再セットアップをする場合』を行ってください。

1. プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. プリンタのパラメータ設定を行います。
 - <B-SX5T-TS15の場合>
プリンタのパラメータ設定で“<2>PARAMETER SET”の“CENTRO. MODE”を“ECP”に、“PLUG & PLAY”を“ON”に設定します。
 - <B-SA4TM / TP-TS15または B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-458-TS25-Rの場合>
プリンタのパラメータ設定で“<2>PARAMETER SET”の“PLUG & PLAY”を“ON”に設定します。

注意：パラメータ設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。
4. コンピュータの電源を入れてください。

注意：プリンタの設定を変更できるユーザー名でログインしてください。
5. システム起動後、デバイスドライバソフトウェアのインストールが自動的に開始されます。
6. しばらくすると、プリンタドライバのインストールが終了します。
7. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意：TEC B-SX5-JP 以外の場合、本製品のインストール後に必ず[双方向通信サポート]を無効にしてください。
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

2.10 削除

◆ 本バージョン（V7.1.6 M-1）および V6.5 Build75、V6.5 Build77以外のバージョンを削除する場合

次の場合には、以下の手順により必ずプリンタドライバを削除してからプリンタドライバをインストールしてください。

- 本バージョンを再インストールする場合。
- 旧バージョンが既にインストール済の場合。
- インストールを途中でキャンセルした場合（デジタル署名の確認時に[いいえ(N)]を選択した場合も対象）。
- 何らかのトラブルにより、プリンタドライバがインストールできない場合。

注意：プラグアンドプレイによるインストール時は、プリンタの電源を OFF してから削除を行ってください。

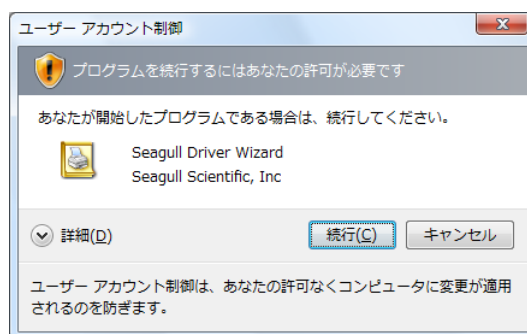
注意：登録済の用紙情報、バーコード情報はプリンタドライバの削除により消えてしまいます。これらの情報はプリンタドライバを削除する前にエクスポート機能を使用することにより、ファイルに保存することが可能です。プリンタドライバの再インストール後に、インポート機能にて保存したファイルを読み込むことにより、これらの用紙情報、バーコード情報が再利用できます。

■ プリンタドライバの削除

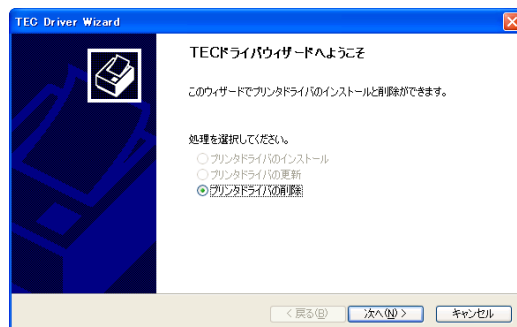
1. [スタート] — [すべてのプログラム] — [TOSHIBA TEC] — [TPCL Printer Driver] の [Driver Wizard] をクリックしてください。

注意：上記操作を行う前には Windows アプリケーションを終了してください。また、スプーラに印刷ジョブが残っていないことを確認後、スプーラ及びプリンタフォルダを閉じてください。

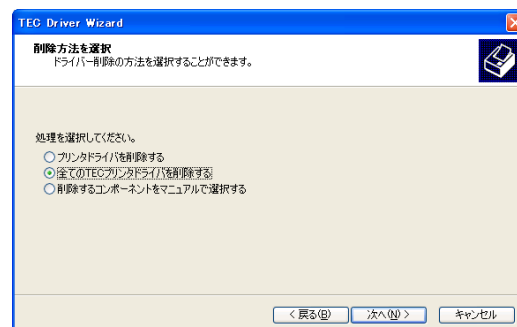
Windows Vista/Server2008の場合、「ユーザーアカウント制御」というタイトルの画面が表示されることがありますが、その場合は[許可]をクリックします。



2. [プリンタドライバの削除] を選択し、[次へ(N)] をクリックしてください。



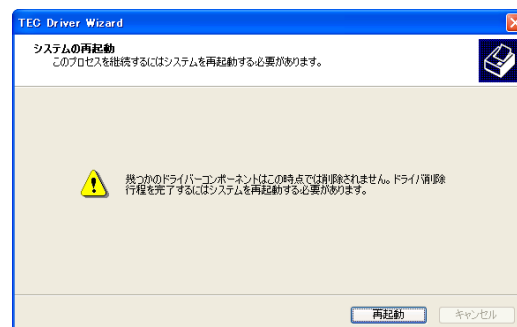
3. [全ての TEC プリンタドライバを削除する] を選択し、
[次へ(N)] をクリックしてください。



4. [完了] をクリックしてプリンタドライバの削除を開始してください。

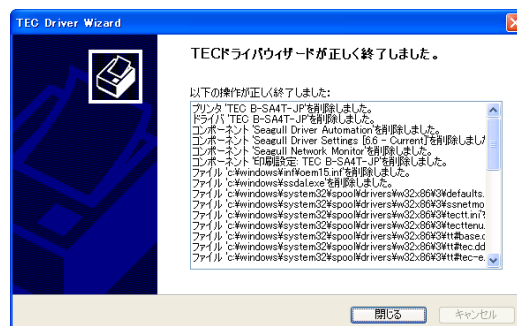


5. [システムの再起動] が表示されたら、[再起動] をクリックしてコンピュータを再起動してください。



6. 正常に削除が終了すると、左の画面が表示されます。

注意：削除が失敗した場合には、正常終了するまで手順 1 から 5 を繰り返してください。



注意：Windows Vista/Server2008で削除を行った後に再インストールする場合、『Windows Vista/Server2008の再セットアップをする場合』を行ってください。

Windows Vista/Server2008で複数のユーザーアカウントでネットワークプリンタのインストールをしている場合、削除ができません。各ユーザーアカウントでプリンタアイコンを削除してから実行してください。

■ 前準備でセットアップした情報の削除

1. [スタート] – [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] を起動します。
2. “プログラムの変更と削除(H)” 一覧から、“TPCL Printer Driver V (バージョン)”、または“テックプリンタドライバインストール用ファイル” を選択し、[削除] をクリックします。
3. 「追加したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。
4. 「アンインストール完了」画面が表示されますので、[完了] をクリックして終了します。

◆ バージョン V6.5 Build75、V6.5 Build77を削除する場合

1. [スタート] – [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] を起動します。
2. “プログラムの変更と削除(H)” 一覧から、“TEC ***** プリンタ” を選択し、[追加と削除] をクリックします。(*****は、プリンタ名。例えば、“B-458”, “B-419G” など)
3. “ファイル削除の確認” ウィンドウで削除するファイルを確認後、[はい] をクリックします。
4. 「アンインストールが完了しました」が表示されたら、[OK] をクリックします。
注意：上記の手順1～4を行わずに、プリンタアイコンを削除した場合は、プリンタドライバを再インストール後、[プログラムの追加と削除] を行って削除ください。
5. 削除が終了したら、コンピュータを再起動してください。

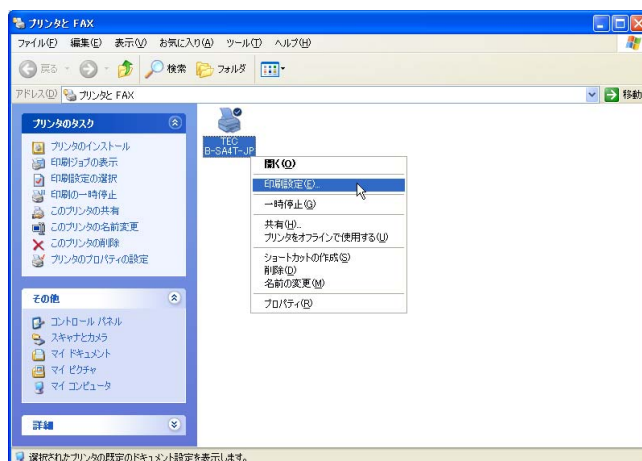
3. 機能

本製品の機能設定は、プリンタアイコンの“プロパティ”または“印刷設定”で行います。

■ 機能設定方法

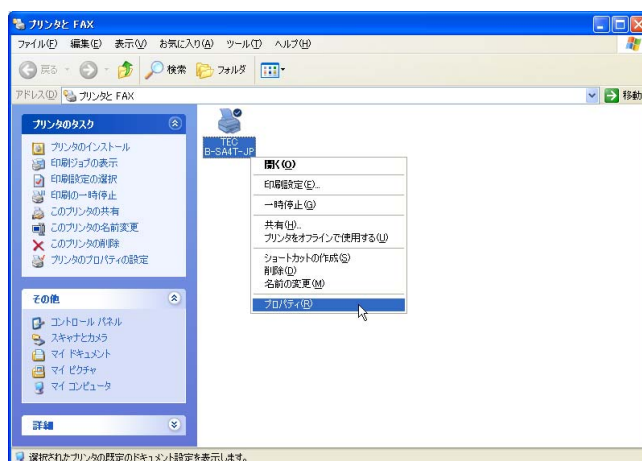
➤ プリンタアイコン→右クリック→印刷設定

- 3.1 印刷条件の設定
- 3.2 用紙設定
- 3.3 グラフィックの設定
- 3.4 オプションの設定



➤ プリンタアイコン→右クリック→プロパティ

- 3.5 バーコードフォント／RFID フォントの設定
- 3.6 バーコードプリンタの動作確認
- 3.7 プリンタフォントの指定



参考：* アプリケーション内の印刷ダイアログボックスからでも、本製品の一部機能の設定ができますが、その場合一時変更的に扱われることがありますので、ご注意ください。

* 外部機器インターフェースマニュアル（非売品）は、本製品に同梱されておりません。ご希望される場合は弊社窓口までお問い合わせください。

3.1 印刷条件の設定

「印刷条件の設定」を選択すると、バーコードプリンタ固有の印刷条件が設定できます。

◆B-SK10D-JP 以外の場合

◆B-SK10D-JP の場合

■ メディア設定

注意：B-SX8R-JP では設定できません。

□ 印刷方法(P)

用紙の印刷方式の種別を選択します。

➤ 印刷方法

- * 直接感熱
- * 直接感熱（無印字エリアヘッドアップ）
- * 熱転写
- * 熱転写（リボンセーブ）

“熱転写（リボンセーブ）”は、リボンセーブ機能に対応したプリンタのみ使用可能です。

“直接感熱（無印字エリアヘッドアップ）”は、RFID 対応プリンタのみ使用可能です。RFID 対応プリンタ

タ以外で“直接感熱（無印字エリアヘッドアップ）”を指定した場合は、プリンタがエラーになります。
タグ内蔵 IC がサーマルヘッド部を通過する時に、サーマルヘッドをアップしタグ内蔵 IC を保護します。

□ センサー(N)

センサーの種別を選択します。

➤ センサー種別

- * なし
- * 反射センサー（通常ラベル使用時）
- * 透過センサー（通常ラベル使用時）
- * 透過センサー（手動スレッシュホールド値使用時）
- * 反射センサー（手動スレッシュホールド値使用時）
- * 透過センサー（衣料用タグ使用時）
- * 下側反射センサー（裏側マーク使用時）
- * 下側反射センサー（手動スレッシュホールド値使用時）
- * 上側反射センサー（印刷面マーク使用時）
- * 下側反射センサー（パンチホール使用時）
- * 無効
- * 有効

“透過センサー（手動スレッシュホールド値使用時）”、“反射センサー（手動スレッシュホールド値使用時）”は、プリンタのスレッシュホールド設定操作（キー操作）で、使用するセンサーのスレッシュホールドの設定を行ったときに選択します。

“透過センサー（衣料用タグ使用時）”は B-433、B-433T でのみ使用可能です。下側反射センサー（裏側マーク使用時）、下側反射センサー（手動スレッシュホールド値使用時）、上側反射センサー（印刷面マーク使用時）、下側反射センサー（パンチホール使用時）は B-858、B-858-R で使用可能です。

B-SK10D-JP はセンサーの有効／無効を指定し、有効した場合プリンタ本体で設定したセンサー種別で動作します。

□ ラベルギャップ(G)

ラベル間ギャップの大きさを設定します。タグの場合は印刷しない領域を設定します。

□ 印刷開始位置(P)

印刷開始位置を設定します。

■ 印刷方法

注意：B-419G、B-SP2D-JP、B-EP2DL-G-JP、B-EP4DL-T-JP では設定できません。また、B-SX8R-JP は印刷速度のみ指定可能です。

□ 印刷モード(M)

印刷モードを選択します。

➤ 印刷モード

- * 連続発行（バックフィード有り）
- * 剥離発行（バックフィード有り）
- * 連続発行
- * カット発行

剥離機構を装着して剥離発行する場合は“剥離発行（バックフィード有り）”を選択します。
それ以外の場合は“連続発行（バックフィード有り）”を選択します。

□ 印刷後動作(C)

カット発行する・しないを設定します。

- * しない
- * カット
- * カット&一時停止
- * 一時停止

一時停止の機能はサポート外となっております。

□ 動作種別(O)

カット発行する場合は、カットするタイミングを選択します。
印刷モードが“剥離発行”の場合、“カット”は選択できません。

➤ 動作種別

- * 1枚毎
- * 指定の間隔
- * 同一ラベル毎に指定の間隔
- * 同一ラベル毎（コピー枚数毎）
- * 印刷ジョブの最後
- * 指定の間隔（プリンタによる）

一定間隔でカットする場合は、“指定の間隔”を選択し、“間隔(I)”を入力します。ラベルごとにカットをする場合は、“同一ラベル毎（コピー枚数毎）”を選択します。ラベルごとに指定の間隔でカットをする場合は、“同一ラベル毎に指定の間隔”を選択し、“間隔(I)”を入力します。常に一定の間隔でカットする場合、“指定の間隔（プリンタによる）”を選択し、“間隔(I)”を入力します。“指定の間隔（プリンタによる）”以外は、ジョブの最後で必ずカットします。

指定の間隔（プリンタによる）は B-SK10D-JP でのみ使用可能です。

カット例：

4ページのラベルをコピー枚数5枚で発行した場合

動作種別	間隔	(▲:カット位置)
1枚毎	—	1▲1▲1▲1▲1▲2▲2▲2▲2▲2▲3▲3▲3▲3▲3▲4▲4▲4▲4▲4▲
指定の間隔	3	1 1 1▲1 1 2▲2 2 2▲2 3 3▲3 3 3▲4 4 4▲4 4▲
同一ラベル毎に 指定の間隔	3	1 1 1▲1 1▲2 2 2▲2 2▲3 3 3▲3 3▲4 4 4▲4 4▲
同一ラベル毎 (コピー枚数毎)	—	1 1 1 1 1▲2 2 2 2 2▲3 3 3 3 3▲4 4 4 4 4▲
印刷ジョブの最後	—	1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4▲
指定の間隔 (プリンタによる)	3	1 1 1▲1 1 2▲2 2 2▲2 3 3▲3 3 3▲4 4 4▲4 4 (1ジョブ目) 1 ▲1 1 1▲1 2 2▲2 2 2▲3 3 3▲3 3 4 ▲4 4 4▲4 (2ジョブ目)

□ 間隔(I)

指定の間隔でカット発行する場合は、カットする間隔を設定できます。

□ 印刷速度(S)

印刷速度を選択します。バーコードプリンタの機種により、選択できる速度が異なります。

■ 微調整

□ 設定(E)

“設定(E)”をチェックすると、各動作の微調値が設定できます。“設定(E)”をチェックしないと、プリンタの現在の設定で動作します。

➤ 設定項目

- * フィード量(F)
- * バックフィード量(B)
- * カット/剥離位置(U)
- * 印字縮み補正(K)

用紙搬送方向の印刷の縮みを調整する場合、“印字縮み補正”に値を入力します。
バーコードプリンタの機種により、設定できる項目が異なります。

3.2 用紙設定

「用紙」タブを選択すると、用紙サイズや印刷向きなど用紙に関する設定が行えます。



■ 用紙サイズ

□ 名前(N)

用紙サイズとして登録されている名前から、既定とする用紙サイズを選択します。
また、編集または削除する用紙サイズの名前を選択します。

□ 用紙サイズ新規登録(W)、編集(E)、削除(D)

“新規(W)”、“編集(E)”、“削除(D)”の各ボタンにより、用紙サイズのメンテナンスを行います。
→『3.2.1 用紙サイズの編集』を参照してください。
用紙サイズの登録数に制限はありません。

■ 印刷の向き

印刷の向きを選択します。“縦(P)”が頭出し印刷、“縦180°(O)”が尻出し印刷を意味します。
“横(L)”は“縦(P)”を90°回転した印刷向きとなります。

■ 効果

“ミラーイメージ(M)”、“ネガイメージ(T)”から選択できます。
バーコードプリンタの機種により、選択できる項目が異なります。

■ プリセット

本製品の設定内容に名前を付け、設定情報を保存できます。
プリセットの名前を選択し、保存した設定情報を呼び出して印刷することができます。
→『3.2.2 プリセット』を参照してください。

注意：共有プリンタへ印刷する場合、印刷指示を行うクライアントコンピュータに、“印刷向き”や“用紙サイズ”を登録してください。共有プリンタ側に用紙サイズを登録しても、クライアント側と用紙サイズを共有して使用することはできません。

3.2.1 用紙サイズの編集

「用紙」タブの“新規(W)”または“編集(E)”ボタンをクリックすると、用紙サイズの編集が行えます。

◆B-SX8R-JP 以外の場合

用紙サイズの編集

用紙
名前(N): 新規用紙サイズ

有効印字サイズ
幅(W): 105.46 mm 高さ(H): 74.20 mm

両端の台紙部分の幅
左(L): 1.27 mm 右(R): 1.27 mm

プレビュー

OK キャンセル ヘルプ

◆B-SX8R-JP の場合

用紙サイズの編集

用紙
名前(N): 新規用紙サイズ

用紙サイズ
幅(W): 210.00 mm 高さ(H): 85.00 mm

余白
上(T): 0.00 mm 下(B): 0.00 mm
左(L): 0.00 mm 右(R): 0.00 mm

プレビュー

OK キャンセル ヘルプ

■ 用紙

□ 名前(N)

“新規(W)”の場合は、用紙サイズの名前を任意に設定できます。(2バイト文字も可)

■ サイズ

□ 幅(W)、高さ(H)

B-SX8R-JP 以外の場合、用紙の有効印字幅と有効印字長を入力します。

B-SX8R-JP の場合、用紙の幅と高さを入力します。

■ 両端の台紙部分の幅

□ 左(L)、右(R)

左右の台紙のはみ出した部分の幅を入力します。(左右同じ値にします。)

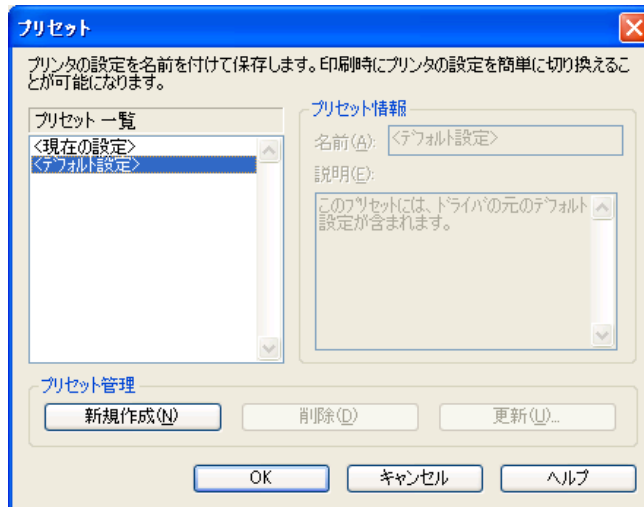
注意 : B-SP2D-JP、B-419G、B-433、B-433T、B-433-CSG では両端の台紙部分の幅を0mm に指定し、用紙の幅を、幅+左+右の値を指定します。アプリケーションの印字レイアウトにて印字位置を調整してください。

■ 余白

- 上(T)、下(B)、左(L)、右(R)
用紙の上下左右の余白を入力します。

3.2.2 プリセット

「用紙」タブの“プリセットの管理(G)” ボタンをクリックすると、プリンタの設定情報に名前を付けて管理できます。



■ プリセット管理

□ 新規作成(N)

「新規作成」をクリックして任意に指定した“名前(A)”および“説明(E)”を、プリンタの設定情報として保存できます。[OK] を押すと設定が保存されます。

保存する設定情報

- 「用紙」タブ
 - * 用紙サイズ
 - * 印刷の向き（縦、横、縦180°、横180°）
 - * 効果（ミラーイメージ、ネガイメージ）
- 「印刷条件の設定」タブ
 - * メディア設定（印刷方法、センサー、ラベルギャップ）、印刷方法（印刷モード、カット、印刷速度）
 - * 微調整（設定、フィード量、カット／剥離位置、バックフィード、印字縮み補正、停止位置）
- 「グラフィック」タブ
 - * デザリング（なし、ハーフトーン、オーダード、代数法、誤差拡散法、色調整、デザリング）
 - * 色（色の制御、レンダリングインテント）
- 「オプション」タブ
 - * グラフィックオプション（転送モード）
 - * 印刷濃度微調整（設定、直接感熱、熱転写、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）
 - * オートフィード（設定、フィード調整）

□ 削除(D)

削除するプリセットを選択し、[削除] をクリックします。

□ 更新(U)

「用紙」タブ、「印刷条件の設定」タブなどの設定を変更し、既存のプリセット名にその変更を反映させる場合、プリセット一覧から該当するプリセット名を選択し、[更新] をクリックします。

3.2.3 高度な設定

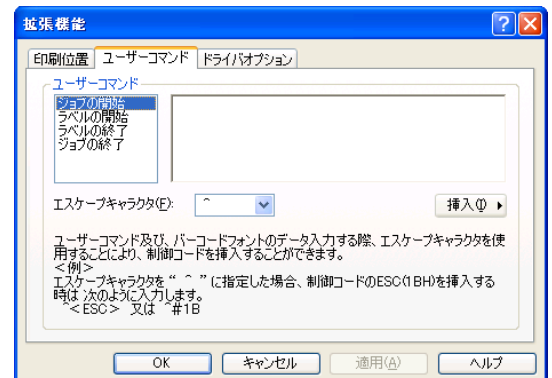
「用紙」タブの“高度な設定(V)” ボタンをクリックすると、印刷に関する応用的な設定が行えます。

■ ユーザーコマンド

□ ユーザーコマンド列の記述

“ジョブの開始”、“ジョブの終了”、“ラベルの開始”、“ラベルの終了”の各タイミングで、バーコードプリンタのプリンタコマンド列を記述することができます。本製品の設定でカバーできないプリンタ動作などを、コマンド列で記述してください。

補足：外部機器インターフェースマニュアル（非売品）を参照してください。外部機器インターフェースマニュアルをご希望のお客様は弊社窓口までお問い合わせください。



□ エスケープキャラクタ

バーコードフォントを使用してバーコードを印刷する場合、エスケープキャラクタを使用することによりバーコードデータにバイナリデータを指定することが可能になります。初期値は caret [^] (5EH)に設定されます。

以下、初期値の caret [^] (5EH)を使用した場合の説明になります。

ヘキサデシマル入力

^#nn

例

00から06までのバイナリを指定する場合の記述

^00^01^02^03^04^05^06

略語による入力

^<ccc>

例

00から06までのバイナリを指定する場合の記述

^<NUL>^<SOH>^<STX>^<ETX>^<EOT>^<ENQ>^<ACK>

エスケープキャラクタの入力

バーコードデータにエスケープキャラクタを入力する場合にはエスケープキャラクタを2回送ります。

^^

バイナリデータ

<NUL> 00	<DLE> 10
<SOH> 01	<DC1> 11
<STX> 02	<DC2> 12
<ETX> 03	<DC3> 13
<EOT> 04	<DC4> 14
<ENQ> 05	<NAK> 15
<ACK> 06	<SYN> 16
<BEL> 07	<ETB> 17
<BS> 08	<CAN> 18
<HT> 09	 19
<LF> 0A	<SUB> 1A
<VT> 0B	<ESC> 1B
<FF> 0C	<FS> 1C
<CR> 0D	<GS> 1D
<SO> 0E	<RS> 1E
<SI> 0F	<US> 1F
	 7F

■ ドライバオプション

□ ライン描画

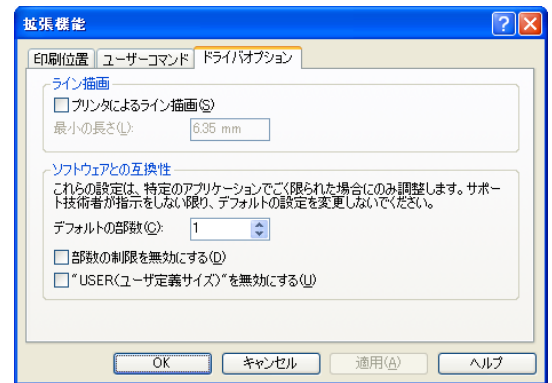
“プリンタによるライン描画(S)” をチェックすると、バーコードプリンタのライン描画機能を使ってラインを印刷することができます。(印刷スループットの向上が見込めます)

“最小の長さ(L)” は、バーコードプリンタのライン描画機能で描画させるラインの最小値です。“最小の長さ(L)” で設定した値より短いラインは、OS の描画機能により印刷されます。

注意：使用するアプリケーションにより、このライン描画機能が正しく働かない場合があります。その場合は、チェックをはずしてご使用ください。

□ ソフトウェアとの互換性

デフォルトのままご使用ください。



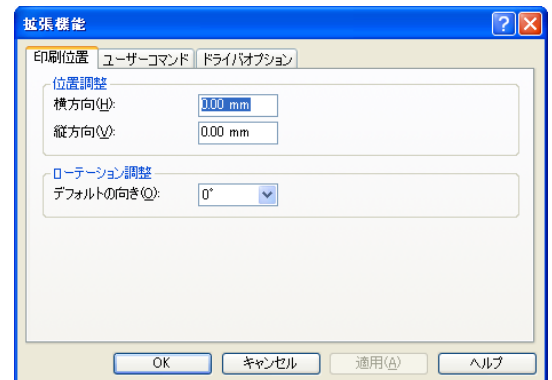
■ 印刷位置

□ 位置調整

デフォルトのままご使用ください。

□ ローテーション調整

デフォルトのままご使用ください。



3.3 グラフィックの設定

「グラフィック」タブを選択すると、ディザリングの選択や色の調整が行えます。



□ ディザリング

グラフィック印刷時の描画（ディザリング）パターンを選択します。

- * なし(N)
- * ハーフトーン(H)
- * オーダード(O)
- * 代数(B)
- * 誤差拡散法(E)

[ディザリングのセットアップ] をクリックすると、数種類のアルゴリズムの中から選択できます。アルゴリズムはディザリングパターンによって異なります。

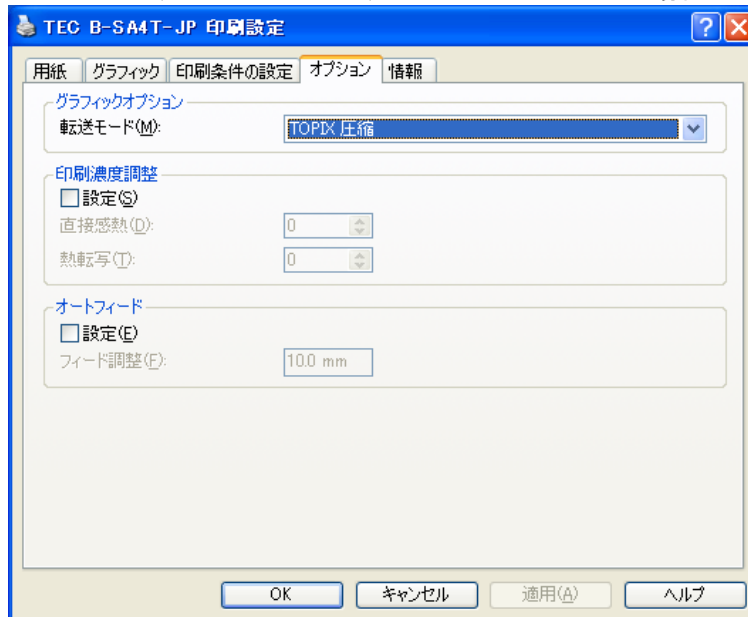
□ 色の制御

「モノクロ印刷」のみ選択可能です。

3.4 オプションの設定

「オプション」タブを選択します。

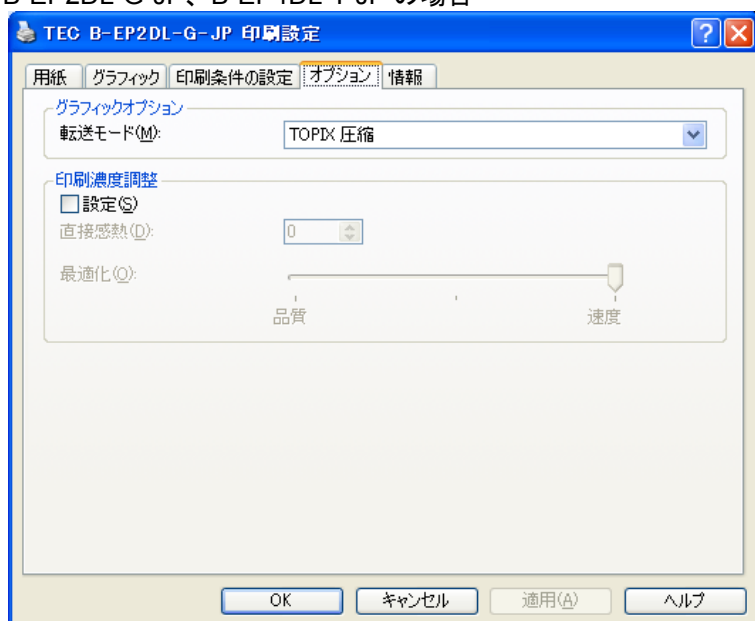
◆B-SK10D-JP、B-EP2DL-G-JP、B-EP4DL-T-JP 以外の場合



◆B-SK10D-JP の場合



◆B-EP2DL-G-JP、B-EP4DL-T-JP の場合



□ グラフィックオプション

“転送モード(M)”にて、グラフィックデータの転送方式が選択できますが、“TOPIX 圧縮”方式でお使いください。TOPIX 圧縮に未対応の機種をお使いの場合は、“ヘキサモード上書き描画”方式を選択してください。

➤ TOPIX 圧縮対応機種

- * B-374-TS15 ROM バージョン V2.4以降
- * B-474-TS15 ROM バージョン V2.4以降
- * B-874-TS15 ROM バージョン V1.3以降
- * 上記以外のプリンタの全バージョン

□ 印刷速度設定

“プリンタの既定値を使用(U)”のチェックを外すと、印刷速度を設定できます。“プリンタの既定値を使用(U)”をチェックした場合、プリンタの現在の設定で動作します。

□ 印刷濃度調整

B-SK10D-JP 以外の場合、“設定(S)”をチェックすると、印刷時のヘッド電圧の値を“直接感熱(D)”、“熱転写(T)”用にそれぞれ設定できます。“設定(S)”をチェックしないと、プリンタの現在の設定で動作します。

B-EP2DL-G-JP、B-EP4DL-T-JP の場合“最適化”を設定できます。印字品質と印字速度で最適な設定を選択します。品質に比重を置くと印字速度は遅くなります。

B-SK10D-JP の場合、“プリンタの既定値を使用(C)”のチェックを外すと、濃度微調値を設定できます。“プリンタの既定値を使用(C)”をチェックした場合、プリンタの現在の設定で動作します。

□ オートフィード

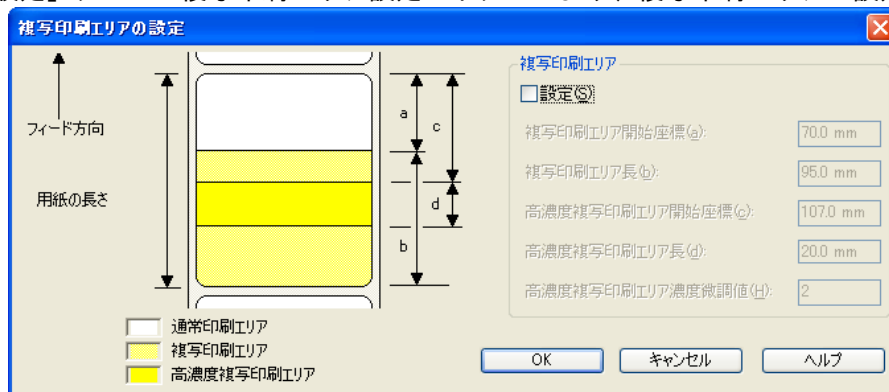
“設定(E)”をチェックすると、“フィード調整(F)”にて印刷後に自動的に紙送りする量を設定できます。印刷開始時には、自動的に印字開始位置までバックフィードします。(B-419G、B-SP2D-JP、B-SX8R-JP、B-EP2DL-G-JP、B-EP4DL-T-JP は設定できません。)”設定(E)”をチェックしないと、プリンタの現在の設定で動作します。

□ 複写印刷エリア設定… (B-419G、B-433-CSG、B-EV4-G のみ)

複写用紙を使用する場合、複写印刷する領域を設定します。

■ 複写印刷エリア設定（B-419G、B-433-CSG、B-EV4-G のみ設定可能）

「印刷条件の設定」タブの“複写印刷エリア設定”ボタンにより、複写印刷エリアの設定を行います。



□ 複写印刷エリア

“設定(S)”をチェックすると、複写印刷エリアが設定できます。“設定(S)”をチェックしないと、プリンタの現在の設定で動作します。

□ 複写印刷領域

複写する印刷領域の開始位置〔複写印刷エリア開始座標(a)〕と、長さ〔複写印刷エリア長(b)〕を指定します。複写印刷領域として指定した領域は、何も指定していない領域よりも濃く印刷されます。

➤ 複写印刷領域の開始位置と長さの指定範囲： 0.0mm ～ 390.0mm

□ 高濃度複写印刷領域

複写印刷領域よりも濃く印刷する領域の開始位置〔高濃度複写印刷エリア開始座標(c)〕と、長さ〔高濃度複写印刷エリア長(d)〕を指定します。複写印刷領域の濃度に対し、高濃度複写の濃度微調値で設定した値分濃く印刷されます。（高濃度複写の濃度微調値が“0”の場合、複写印刷領域と高濃度複写印刷領域の濃さは同じになります。）

➤ 高濃度複写印刷領域の開始位置値と長さの指定範囲： 0.0mm ～ 390.0mm

□ 高濃度複写の濃度微調値

高濃度複写印刷領域の印刷濃度を、複写印刷領域の印刷濃度に対しどの程度濃くするか、印刷濃度を微調整します。

➤ 濃度微調値〔高濃度複写印刷エリア濃度微調値(H)〕の設定範囲： 0 ～ 10

補足：* 複写できる枚数は1枚までです。

* OCR やバーコードを複写印字した場合、かすれが生じたときは、その印刷する領域を高濃度複写印刷領域として指定することにより、かすれを少なくすることができます。

* 複写印刷領域と高濃度複写印刷領域の指定は、それぞれ単独で指定が可能です。

* 複写印刷領域のみ指定することや、高濃度複写印刷領域のみ指定することが可能です。

* 複写印刷領域内に高濃度複写印刷領域を指定する必要はありません。

* [オプション]の[印刷濃度微調整]で指定した濃度微調は、複写印刷領域および高濃度複写印刷領域にも反映されます。

* 何も指定していない領域の濃度 = 印刷濃度微調整値

* 複写印刷領域の濃度 = 印刷濃度微調整値 + 複写印刷用の標準濃度

* 高濃度複写印刷領域の濃度 = 印刷濃度微調整値 + 複写印刷用の標準濃度 + 高濃度複写印刷の濃度微調値

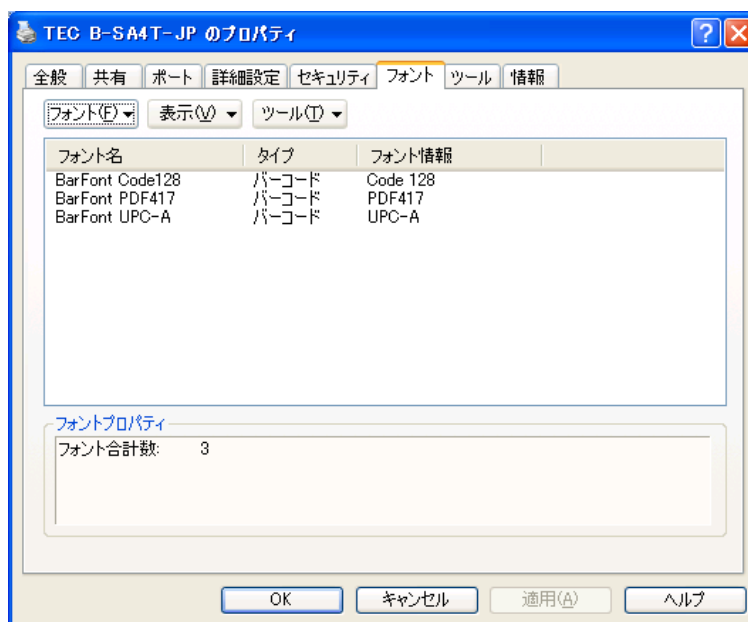
3.5 バーコードフォント／RFID フォントの設定

「フォント」タブを選択すると、バーコードおよび RFID のデバイスフォント登録が行えます。アプリケーションで使用するバーコードフォントがリストにない場合、[フォント]－[新規バーコードフォント]を押して、「バーコードフォント」ダイアログボックスにてバーコード種類、比率、細バーの長さなどを設定して追加登録できます。また、RFID フォントの場合には、[フォント]－[新規 RFID フォント]を押して、「RFID フォント」ダイアログボックスにてタグ種類、形式などを設定して追加登録できます。

注意：* バーコードおよび RFID のデバイスフォントは、プリンタドライバ毎に登録してください。また、共有プリンタへ印刷する場合においても、印刷指示を行うクライアントコンピュータと共有プリンタを設定したコンピュータそれぞれに、デバイスフォントを登録してください。共有プリンタ側にだけデバイスフォントを登録しても、クライアント側とデバイスフォントを共有して使用することはできません。

[インポート]、[エクスポート]機能を使用すると、他のプリンタドライバへの登録が容易に行うことができます。『ドライバ』を参照してください。

- * バーコードフォントのデータとして漢字データを使用する場合は、[ツール]－[設定]－[プリンタオプション]－[コマンドプロトコル]－[制御コード]を[ESC / LF / NUL]に設定してください。
- * B-458-HS13用『銘板・シールプリントシステム』をご使用になる場合、本バーコード設定による設定は必要ありません。
- * 『3.5.2 RFID フォントの編集』機能は、サポート外となっております。編集画面の表示、および項目等の選択は一切できません。ご了承ください。



□ フォント(F)

バーコードフォントのメンテナンスを行います。。

➤ 新規バーコードフォント

バーコードフォントを新規に登録します。登録数の制限はありません。

➔『3.5.1 バーコードフォントの編集』を参照してください。

➤ 新規 RFID フォント

RFID フォントを新規に登録します。登録数の制限はありません。

➔『3.5.2 RFID フォントの編集』を参照してください。

➤ 編集

登録済みのフォントの設定内容を変更します。

編集するフォントを選択し、[フォント(F)] – [編集]、または右クリック – [編集] を選択します。

➤ 削除

登録済みのフォントを削除します。

削除するフォントを選択し、[フォント(F)] – [削除]、または右クリック – [削除] を選択します。

□ 表示(V)

[フォント] タブにて表示するフォントの種類を“バーコードフォント”“RFID フォント”の2つから選択します。チェックを変更するごとに表示されるフォント種類が変わります。

補足：[フォント] タブに表示するフォントは、当該プリンタドライバで使用可能なフォントのみです。
同一のコンピュータ上にある他のプリンタドライバで登録したデバイスフォントは表示されません。

□ ツール(T)

デバイスフォント関連の各種設定とプリンタドライバのオプション機能を設定します。

➤ プリンタ内蔵フォント／ユーティリティフォント

以下の項目はデフォルトのままご使用ください。

・[アウトラインフォントオプション]

・[ビットマップフォントオプション]

・[互換性の設定]

[デバイスフォントをキャラクタセット毎に表示する]

・[ユーティリティフォントオプション]

※デフォルトは有効に設定されています。

補足：本機能はデバイスフォントの有効／無効を指定します。
デバイスフォントを使用しない場合でも、有効にした状態で印刷を行うことができますが、無効に設定することでプリンタドライバの処理が軽減されプリンタドライバの印刷効率が向上します。

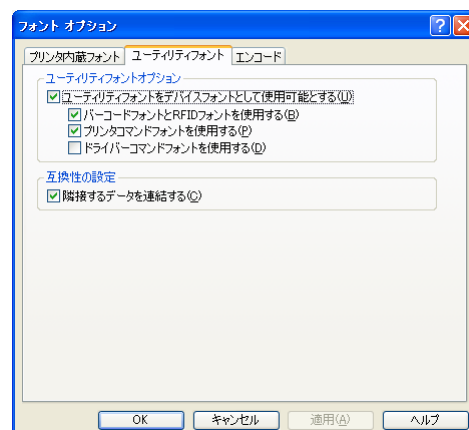
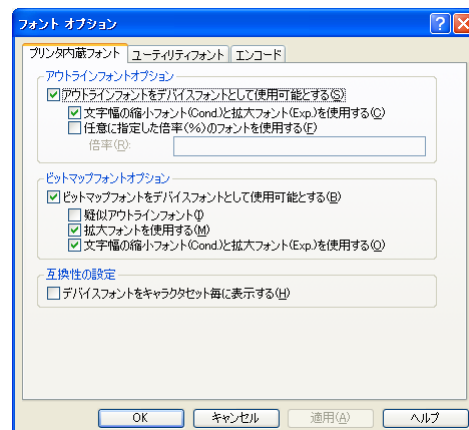
[互換性の設定] [隣接するデータを連結する]

2 フィールド以上指定したバーコードフォントが、1 つのバーコードになって印刷されてしまう場合には、チェックを外してください。

※デフォルトは有効に設定されています。

➤ エンコード

デフォルトのままご使用ください。



3.5.1 バーコードフォントの編集

新規登録の場合は「[フォント(F)]」－「[新規バーコードフォント]」、編集する場合は編集するフォントを選択し、「[フォント(F)]」－「[編集]」、または右クリック→「[編集]」により、バーコードフォントのメンテナンスが行えます。

■ フォント

□ フォント名(N)

“新規”の場合は、バーコードフォントの名前を任意に設定できます。
英数字、漢字、カナで入力します。

□ キャラクタ設定(E)

コード化する文字列の種別を設定します。漢字などの2バイトコードをコード化する場合、“日本語”を選択します。

□ データの連結(M)

“データの連結(M)”をチェックすると、アプリケーション内で文字テキストにバーコードフォントを指定した場合、複数行にまたがって入力されたテキストを1つのバーコードとして扱うことができます。

補足：ページ内で同じフォントに指定した文字テキストは全て連結され、1つのバーコードとして印刷されます。

□ 幅(W)

アプリケーション内で画面に表示する文字テキストの文字幅を指定します。

補足：バーコードフォントに指定した文字テキストがページにおさまらない場合に設定してください。アプリケーションによっては有効でない場合があります。有効にならないアプリケーションや大量の文字テキストを1つのバーコードにする場合、“データの連結(M)”を使用してください。

■ バーコードオプション

□ コード種類(S)

バーコードまたは2次元コードの種類を選択します。

➤ コード種類

“Code 39 - Full ASCII”、“Code 39 - Regular”、“Code 93”、“Code 128”、“Codabar (NW-7)”、“Interleaved 2-of-5 (ITF)”、“MSI Plessey”、“UPC-A”、“UPC-E”、“EAN/JAN-13”、“EAN/JAN-8”、“PDF417”、“Data Matrix (データコード)”、“Maxi Code”、“QR Code”、“Micro PDF417”、

“US POSTNET”、“Royal Mail 4-State Customer Code” “Japanese 4-State Customer Code”、
“KIX 4-State Customer Code”、“RSS”

□ 細バー／セルの寸法(X)

細バーまたは1セルの長さを設定します。(バーコードプリンタの機種や選択したコード種類により異なります。)

補足：バーコードの高さは、アプリケーションのフォントのサイズ指定により調整できます。

□ バー下数字(H)

“あり (バーコード下部)”、“なし” を選択します。(コード種類により設定できない場合があります。)

□ 印刷の向き(O)

バーコードの印刷の向きを指定します。

- * 0°
- * 90°
- * 180°
- * 270°

□ 比率(R)

細バー：太バーの比率を、“自動” または各比率から選択します。(コード種類により設定できない場合があります。)

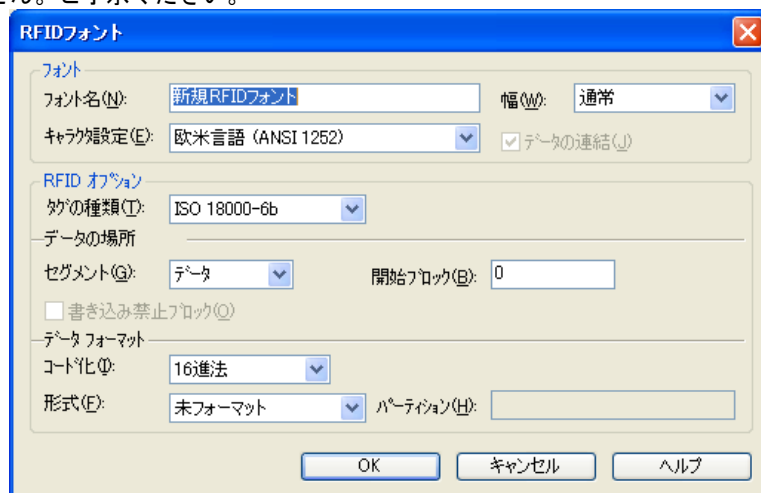
■ コード固有のオプション

“コード固有のオプション” では、選択したコード種類固有の項目を設定できます。

3.5.2 RFID フォントの編集

新規登録の場合は [フォント(F)] - [新規 RFID フォント]、編集する場合は編集するフォントを選択し、[フォント(F)] - [編集]、または右クリック→ [編集] により、RFID フォントのメンテナンスが行えます。

注意：『3.5.2 RFID フォントの編集』機能は、サポート外となっております。編集画面の表示、および項目等の選択は一切できません。ご了承ください。

The image shows a Windows-style dialog box titled "RFIDフォント" (RFID Font). It is divided into two main sections: "フォント" (Font) and "RFID オプション" (RFID Option). In the "フォント" section, there are fields for "フォント名(N)" (Font Name) set to "新規RFIDフォント", "幅(W)" (Width) set to "通常" (Normal), and "キャラクタ設定(E)" (Character Setting) set to "欧米言語 (ANSI 1252)". There is a checked checkbox for "データの連結(L)" (Link Data). The "RFID オプション" section includes "タグの種類(T)" (Tag Type) set to "ISO 18000-6b", "データの場所" (Data Location) with "セグメント(G)" (Segment) set to "データ" and "開始ブロック(B)" (Start Block) set to "0". There is an unchecked checkbox for "書き込み禁止ブロック(O)" (Prohibit Writing Block). Under "データフォーマット" (Data Format), "コード化(C)" (Coding) is set to "16進法" (Hexadecimal) and "形式(F)" (Format) is set to "未フォーマット" (Unformatted). There is also a field for "バージョン(H)" (Version). At the bottom, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "ヘルプ" (Help).

■ フォント

□ フォント名(N)

“新規”の場合は、RFID フォントの名前を任意に設定できます。
英数字、漢字、カナで入力します。

□ キャラクタ設定(E)

コード化する文字列の種別を設定します。漢字などの2バイトコードをコード化する場合、“日本語”を選択します。

□ 幅(W)

アプリケーション内で画面に表示する文字テキストの文字幅を指定します。

補足：RFID フォントに指定した文字テキストがページにおさまらない場合に設定してください。アプリケーションによっては有効でない場合があります。有効にならないアプリケーションや大量の文字テキストを1つのデータにする場合、位置とフォントサイズを変更してください。

■ RFID オプション

□ タグの種類(T)

使用するタグの種類を指定します。

プリンタに装着した R/W モジュールにより、使用できるタグ種類が異なります。
R/W モジュールに付属する取扱説明書をご覧ください。

□ セグメント(G)

書込むエリアを指定します。

選択したタグの種類により、指定可能なセグメントは異なります。

□ 開始ブロック(B)

データのコード化を開始するブロックを指定します。

□ コード化(I)

コード化するデータの形式を指定します。

- * テキスト
- * 16進数
- * バイナリ

□ 形式(F)

書込みデータのエンコード種類を指定します。

SGTIN-64、SGTIN-96 SSCC-64、SSCC-96、SGLN-64、SGLN-96、GRAI-64、GRAI-96、GIAI-64、GIAI-96、GID-96、DOD-64、DOD-64、未フォーマット、カスタム

□ パーティション(H)

「形式」をカスタムに指定した場合に指定できます。

エンコードするビットフィールドの構成を任意に指定します。

□ アプリケーションからの書込みデータの指定方法

エンコードするフォーマット種類に従って、各ビットフィールドの値をセミコロン (;) で区切って指定します。

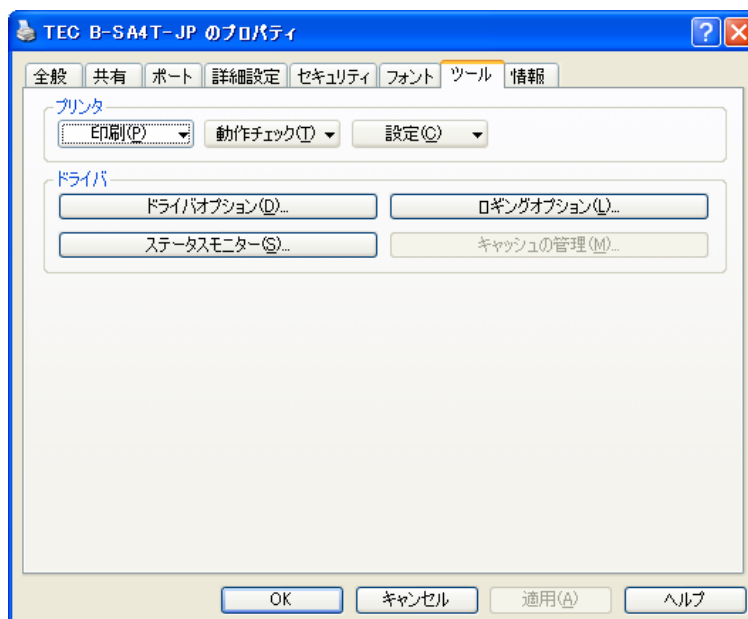
例えば SSCC-64の場合、Filter Value=2、Company Prefix=14501、Serial Reference=200045294701で書込みを行うには、2;14501;200045294701と指定します。

エンコードの種類ごとに指定方法が異なります。

フォーマット	アプリケーションから指定するデータ
SGTIN-64	Filter Value;Company Prefix;Item Reference;Serial Number
SGTIN-96	Filter Value;Company Prefix;Item Reference;Serial Number
SSCC-64	Filter Value;Company Prefix;Serial Reference
SSCC-96	Filter Value;Company Prefix;Serial Reference
SGLN-64	Filter Value;Company Prefix;Location Reference;Serial Number
SGLN-96	Filter Value;Company Prefix;Location Reference;Serial Number
GRAI-64	Filter Value;Company Prefix;Asset Type;Serial Number
GRAI-96	Filter Value;Company Prefix;Asset Type;Serial Number
GIAI-64	Filter Value;Company Prefix;Individual Asset Reference
GIAI-96	Filter Value;Company Prefix;Individual Asset Reference
GID-96	General Manager Number;Object Class;Serial Number
DOD-64	Filter Value;CAGE;Serial Number
DOD-64	Filter Value;CAGE;Serial Number

3.6 バーコードプリンタの動作確認

「ツール」タブをクリックして、バーコードプリンタの動作確認を行います。



■ プリンタ

□ 印刷(P)

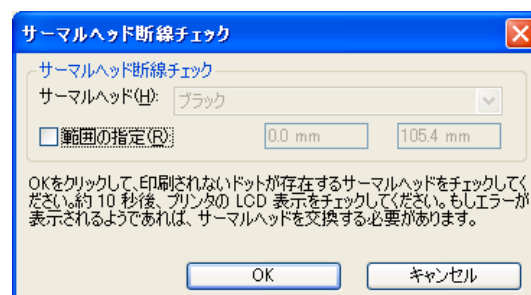
プリンタの動作チェックを行います。[印刷] をクリックすると、本製品側で設定されている印刷条件（用紙サイズ、位置微調、センサー種別等）で、選択したパターンを印刷します。

- * テストラベル
- * 白紙

□ 動作チェック(T)

「動作チェック」をクリックして機能を選択します。（プリンタの機種により選択できる機能が異なります。）

- フィード
“フィード”を選択すると、用紙を1枚紙送りします。
- カット
“カット”を選択すると、カッターモジュールの動作確認を行います。
プリンタが記憶している印刷条件で紙送り後、カットします。
- プリンタ情報の読み込み
本機能はサポート外となっております
- XML データプリントファイルを管理する
本機能はサポート外となっております
- プリンタのリセット（プリンタとコンピュータを RS-232C で接続した場合のみ）
“リセット”を選択すると、バーコードプリンタがリセットされます。
- サーマルヘッド断線チェック（B-458-TS13は未対応）
サーマルヘッドの断線チェックを行います。



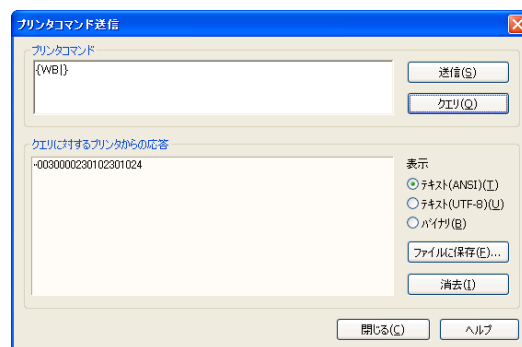
➤ プリンタコマンド送信

記述したプリンタのコマンドをバーコードプリンタへ送信します。また、[クエリ(Q)] ボタンにて、記述したプリンタのコマンドをバーコードプリンタに送信後、バーコードプリンタからのステータスを確認します。

[クエリ(Q)] ボタンは、プリンタと双方向通信可能な状態の時に機能します。また、送信するコマンドは、プリンタがステータスを返すコマンドのみ有効です。プリンタのコマンドについては、外部機器インターフェースマニュアルをご覧ください。

➤ ファイルをプリンタに送信

コマンドファイルをバーコードプリンタへ送信します。



□ 設定(C)

➤ プリンタオプション

□ ステータス自動送信を有効にする

プリンタから自動的に送られてくるステータス（印字終了、各種エラー）を受信しない場合は無効にします。

注意：デフォルトは有効に設定されますが、本製品はこのステータスを使用していません。ステータスを必要としない場合は無効にしてください。

□ ジョブ情報を付加する

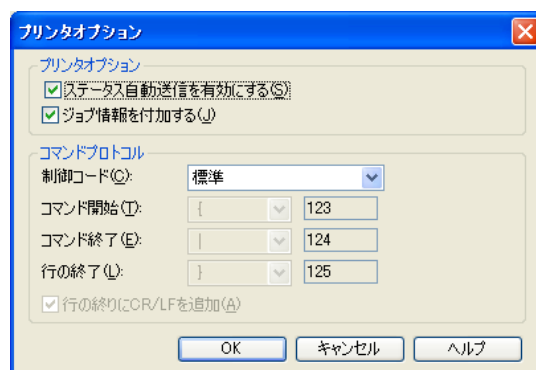
プリンタの SNMP でジョブ情報を取得するために有効にします。SNMP を使用しない場合は無効にしてください。

□ コマンドプロトコル

プリンタコマンドで使用する制御コードを切り換えます。デバイスフォントのデータとして漢字データを使用する場合には [制御コード] を [ESC / LF / NUL] に設定します。

注意：デフォルトは[標準]に設定されています。

デバイスフォントのデータとして漢字データを使用した場合、本設定を変更しないまま印刷するとプリンタがエラーになります。PDF417、MicroPDF417、Data Matrix、Maxicode、QR Code にて漢字コードを指定する場合は、[ESC / LF / NUL] に設定してください。



➤ 自動頭出しフィード機能設定 (B-419G のみ)

“自動頭出しフィード機能を有効にする”にチェックして、[OK] をクリックすると、自動的に用紙を頭出しする機能が働きます。チェックをはずして、[OK] をクリックすると、自動的に用紙を頭出しする機能が働かない設定になります。本設定は、コンピュータとプリンタが通信可能な状態であり、B-419G が印刷中で無いときに行えます。

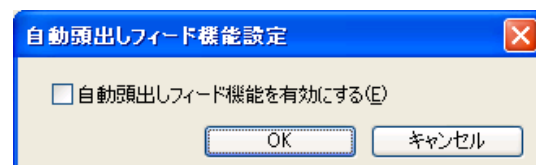
補足：自動頭出しフィード“あり”の状態で、自動頭出しフィード用の用紙を使用しないと、プリンタがセンサーエラーを起こしますが、エラー状態でも、本機能によりオートフィード有無の切り換えは可能です。

◆ 自動頭出しフィード機能

B-419G は自動頭出しフィードを“あり”に設定した場合、下記のときに自動的にフィードし、用紙の頭出しを行います。

- * スタンバイスイッチ ON 中に用紙を手差しで給紙したとき
- * スタンバイスイッチ投入時、用紙が既にセットされているとき
- * 用紙をセットしてカバーを閉じたとき

注意：自動頭出しフィード機能を利用するには、用紙の裏側の既定位置に、ブラック（黒）マークがある用紙を使用する必要があります。

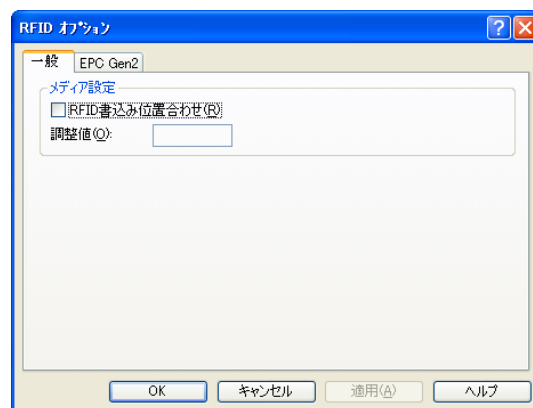


➤ RFID オプション

印字停止位置で RFID タグがプリンタの RFID アンテナの真上に無いタグを使用する場合に「調整値」にて調整します。

調整値指定範囲：-999.9mm ～ 999.9mm

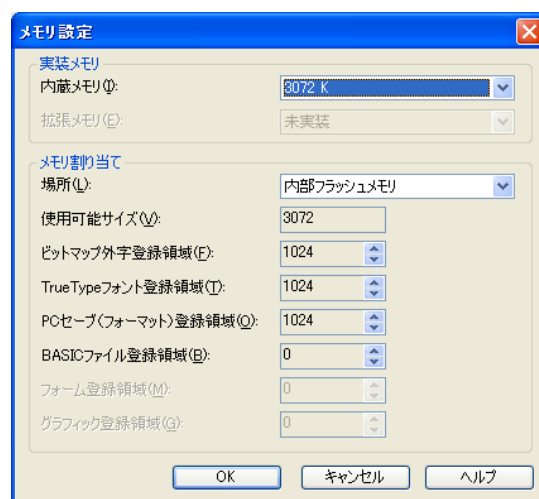
逆転方向に調整する場合は、負（-）の値を指定します。



➤ メモリ設定

プリンタの内蔵メモリまたは、拡張メモリの登録エリアをアロケートします。

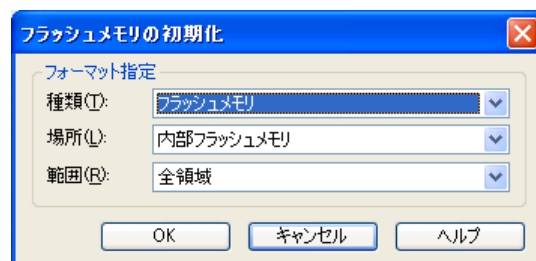
注意：本製品による印刷においては、本機能による操作は必要ありません。



➤ フラッシュメモリの初期化

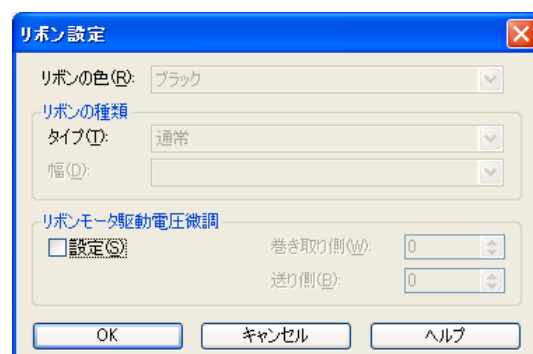
フラッシュメモリの領域を選択して初期化（フォーマット）します。

注意：本製品による印刷においては、本機能による操作は必要ありません。



➤ リボン設定

リボンモーターの駆動電圧を調整する場合、「設定」をチェックします。印刷中にリボンにシワが発生しするときは、リボンモーターの駆動電圧を調整してください。通常はチェックしないでください。



■ ドライバ

□ ドライバオプション(D)

➤ 管理

プリンタドライバの設定値をエクスポート（取出し）して、当社製バーコードプリンタ用のプリンタドライバをインストールした他のコンピュータにインポート（取込み）することで設定の共有化ができます。

注意：9バイト以上の長いファイル名は未対応です

オプション：

→ [オプション] プロパティシートで設定した情報

ネットワーク設定：

→ ドライバオプションのネットワーク設定情報

バーコードフォントと RFID フォント：

→ フォントダイアログから作成されたバーコードと RFID フォント情報

プリセットリスト：

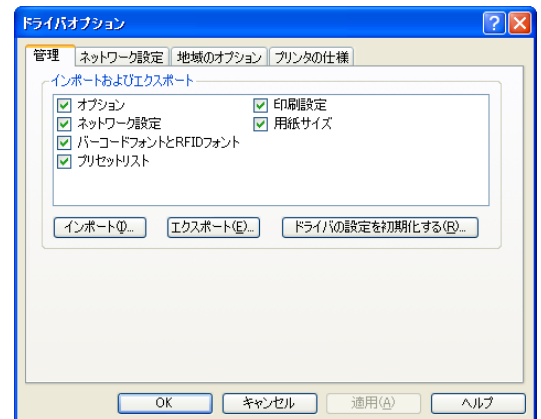
→ [プリセットの管理] ボタンにて登録したプリセット情報

印刷設定：

→ 印刷のために設定した用紙種類、印刷の向き等の印刷情報。

用紙サイズ：

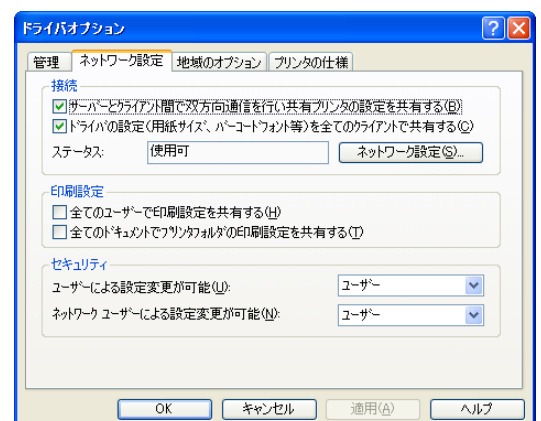
→ [用紙] プロパティシートから登録した用紙サイズ情報。



➤ ネットワーク設定

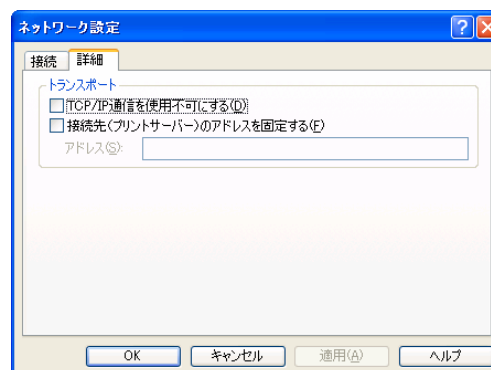
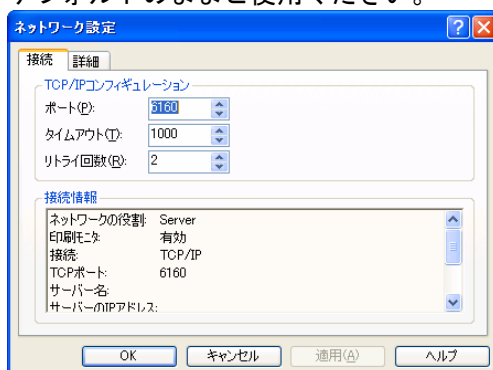
デフォルトのままご使用ください。

補足：本機能は共有プリンタをネットワークプリンタとしてインストール（接続）した場合に使用しますが、すべてのネットワーク環境において動作を保証できません。確実に印刷するために、ネットワークプリンタとしてバーコードプリンタを使用する場合も、ローカルプリンタとしてインストールした後、印刷先にネットワークパスを指定してご利用ください。（1.7 注意事項（重要）参照）



[ネットワーク設定(S)] ボタンによる設定内容

デフォルトのままご使用ください。



➤ 地域のオプション

本製品の表示言語と単位が設定できます。

言語の選択：

使用する言語を選択します。

- * システム設定を使う
- * 英語
- * オランダ語
- * ドイツ語
- * ポルトガル語（ブラジル語）
- * 簡体字中国語
- * イタリア語
- * スペイン語
- * フランス語
- * 日本語
- * 繁体字中国語

単位の選択：

使用する単位を選択します。

- * システム設定を使う
- * インチ
- * ミリメートル
- * センチメートル

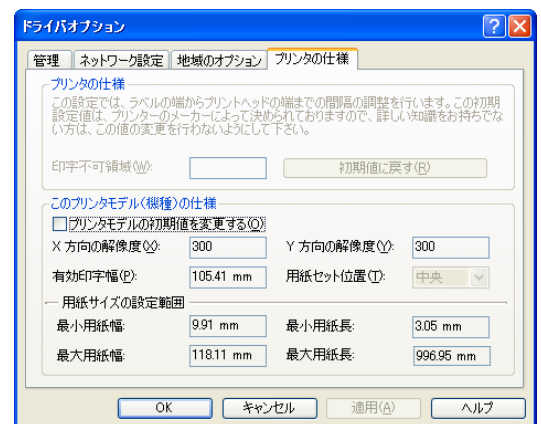
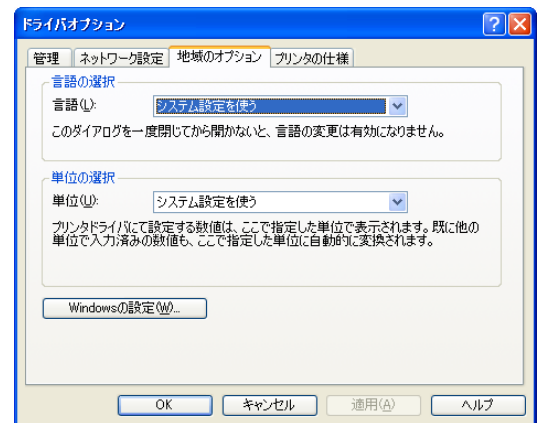
➤ プリンタの仕様

印字不可領域：

本機能はサポート外となっております

このプリンタモデル（機種）の仕様：

デフォルトのままご使用ください。この値を変更した場合、その結果に対して当社は責任を負いかねます。



□ ログオプション(L)

印刷ジョブのログをファイルに記録することができます。「双方向通信サポート」を有効にした場合のみ機能します。

ロギング：

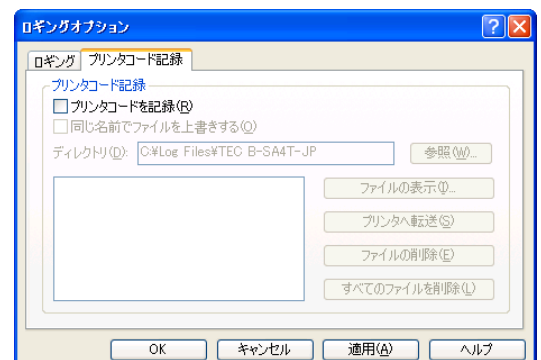
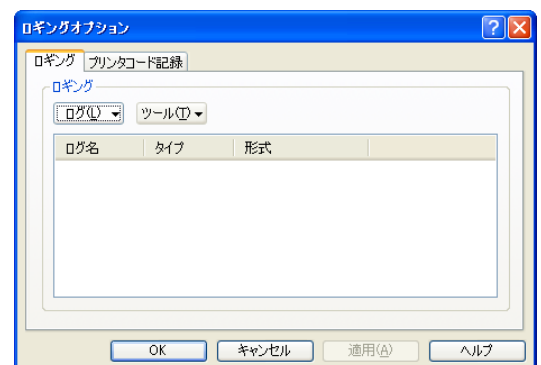
〔ログ(L)〕の機能はサポート外になります。

〔ツール(T)〕の〔レガシーログの追加〕で印刷ジョブの出力履歴をファイルに記録することができます。

但し、ロギングパラメータはデフォルトのままご使用ください。

プリンタコード記録：

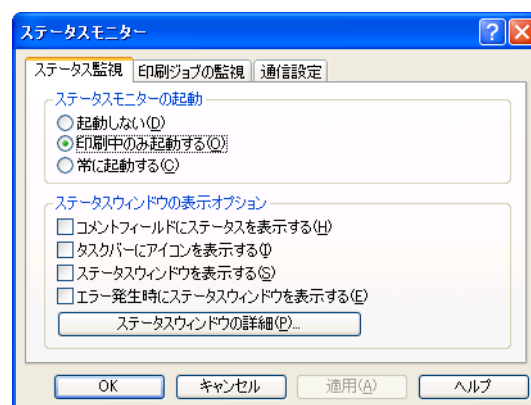
プリンタに送信したコマンドをファイルに記録することができます。



□ ステータスマニター (S)

プリンタの状態をコンピュータで監視します。
本機能は B-SX5-JP、B-SV4-JP、B-SA4T-JP、B-SA4G-JP、B-SX8R-JP、B-858-R、B-458-R で使用可能です。ステータスマニターの使用条件を以下に示します。

- コンピュータとプリンタをシリアルケーブルで接続した場合
- コンピュータとプリンタをプリンタケーブルで接続し、プリンタの設定を“CENTRO. MODE”を「ECP」、「PLUG & PLAY」を「ON」に指定した場合。
(B-SV4D-GH10 / GC10、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-458-R は対象外)
- コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続した場合
- コンピュータとプリンタを LAN ケーブルで接続した場合



■ ステータスマニターの起動

デフォルト（上記画面の設定）のままご使用ください。

■ ステータスウィンドウの表示オプション

□ コメントフィールドにステータスを表示する(H)

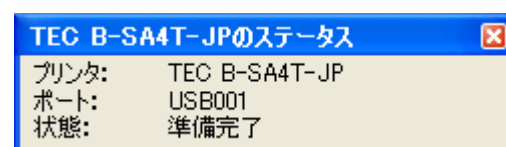
デフォルトのままご使用ください。

□ タスクバーにアイコンを表示する(I)

チェックするとステータスマニターが起動しタスクバーにアイコンを表示します。プリンタの状態を定期的に監視します。

□ ステータスウィンドウを表示する(S)

チェックするとステータスマニターが起動しステータスウィンドウを表示します。



プリンタ : ステータスマニターが監視しているプリンタ名を表示します。

ポート : ステータスマニターが監視している出力ポートです。プリンタが印刷に使用しているポートです。

状態 : プリンタの状態を表示します。プリンタ本体の LCD 表示と同じ意味合いのメッセージを表示します。ただし、プリンタの状態のみ表示する機能です。残枚数等の詳細は表示できません。

<プリンタの状態>

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| * 準備完了 | * ポーズ中 | * 印刷中 |
| * コマンドエラー | * プリンタオフライン | * 用紙がありません |
| * リボンがありません | * ヘッドが開いています | * 用紙詰まり |
| * カッターエラー | * リボンエラー | * センサーエラー |
| * カバーが開いています | * RFID 書込みエラー | * RFID エラー |
| * ASF パワーオフ | * ASF 接続エラー | * ASF カバーオープン |
| * ASF モーターエラー | * 消去機エラー | * 消去機カバーオープン |
| * ヘッド冷却中 | * 用紙給紙中 | * ウォーミングアップ |

<エラー復帰方法>

“紙がありません”等、プリンタにエラーが発生した場合は、プリンタ側でエラーの処置をした後、プリンタ本体の〔RESTART〕キーを押してください。

エラー復帰方法の詳細については、バーコードプリンタの取扱説明書をご覧ください。

➤ 右上 [×]: ステータスウィンドウの表示を閉じてステータスマニターを停止します。

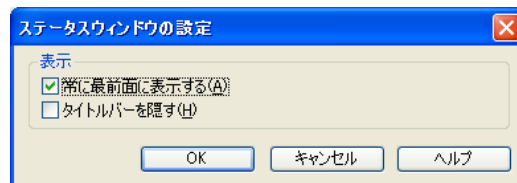
□ エラー発生時にステータスウィンドウを表示する(E)

チェックするとステータスマニターが起動し、ステータスウィンドウの表示が閉じていた場合に、印刷中にエラーが発生したときに、ステータスウィンドウの画面を表示します。

■ ステータスウィンドウの設定

□ 常に最前面に表示する(A)

チェックするとステータスウィンドウを常に最前面で表示します。

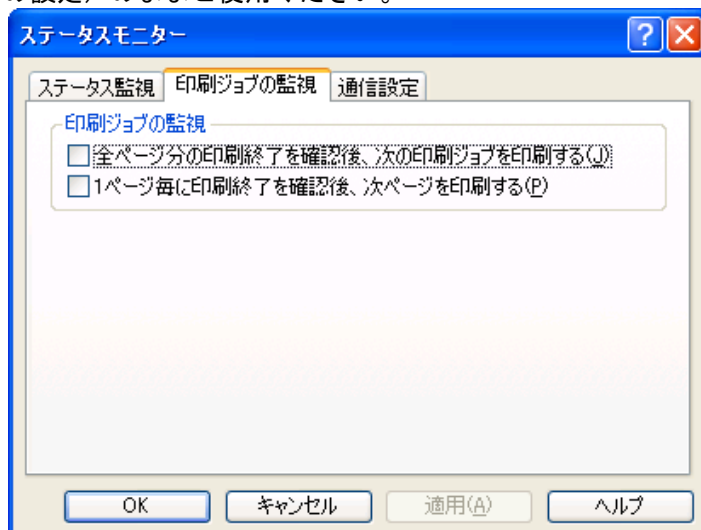


□ タイトルバーを隠す(H)

チェックするとステータスウィンドウのタイトルバーを非表示にします。

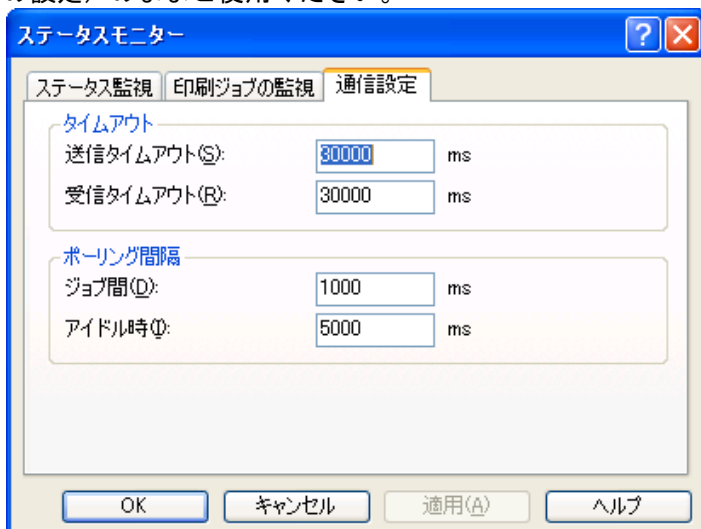
■ 印刷ジョブの監視

デフォルト（下記画面の設定）のままご使用ください。



■ 通信設定

デフォルト（下記画面の設定）のままご使用ください。



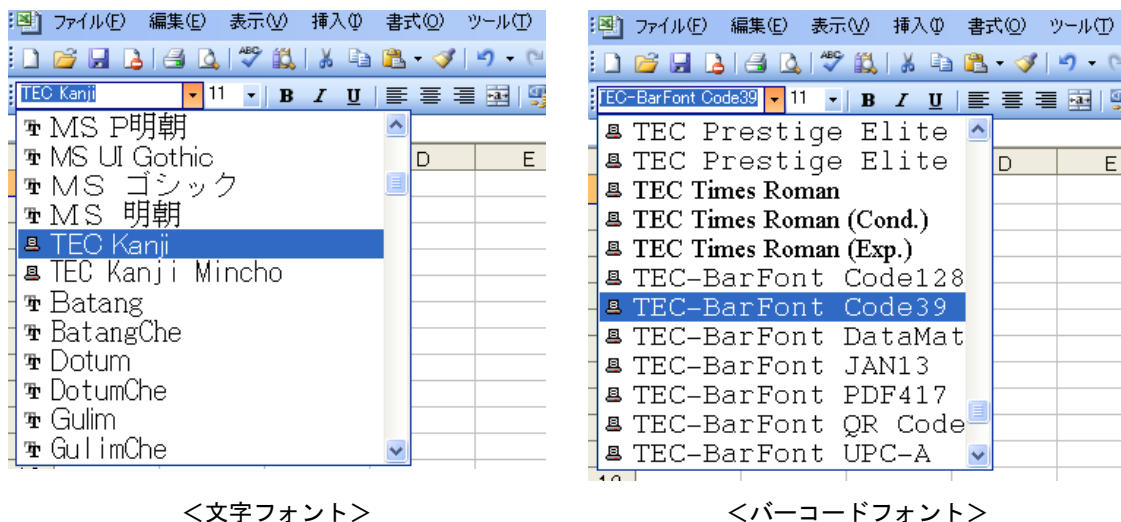
注意：* プリンタドライバのアンインストール時、および印刷するポート切り換え時には、必ずステータスマニターを停止してください。

- * 共有プリンタとして使用している場合は、クライアントではステータスマニターが表示しません。
- * ステータスマニターを表示すると、プリンタの「ON LINE」LED が周期的に点滅します。プリンタの故障ではありません。
- * B-SX5T-TS15、B-SV4D-GH10 / GC10、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R、B-458-TS25-R 以外のプリンタをご使用の場合は、ステータスマニターは起動しないください。
- * ステータスマニターが“オフライン状態”を検出するには時間がかかります。(最低30秒以上)
- * 「タスクバーにアイコンを表示する(I)」と「ステータスウィンドウを表示する(S)」を使用した場合に、起動時に正常に動作しない環境があります。起動時にオフラインが発生する PC では使用しないください。

3.7 プリンタフォントの指定

アプリケーションでバーコードプリンタに内蔵する文字フォントや、バーコード・2次元コードを使用するときは、文字（数字）データのフォント種類を“TEC Kanji”などのバーコードプリンタのプリンタフォントに指定してください。

■ アプリケーション上のフォント選択画面例



<文字フォント>

<バーコードフォント>

補足：* 当社製バーコードプリンタ用のプリンタフォント（バーコード・2次元コードフォント）の名称には、“TEC Kanji”のように頭に“TEC”という名がついています。“TEC ****”フォントを選択すると、画面上の表示は印刷結果と異なりますが、プリンタ内蔵フォントにより印刷されます。

- * プリンタフォントを使用すると、印刷スループットの向上が見込まれます。
- * アプリケーション上に表示されるプリンタ文字フォント（バーコード含む）は、実際に印字される文字、バーコードと異なります。大きさも実寸と異なります。
- * “TEC Kanji Outline”について
漢字アウトラインは、B-374、B-474、B-874にオプション（別売）として設定されています。

■ バーコードフォント プログラミング例（Visual Basic）

登録されているバーコードフォントのフォント名が、“BarFont Code39”の場合の記述例。

```
Private Sub Command1_Click()  
Printer.FontName = "TEC-BarFont Code39"  
Printer.FontSize = 36  
Printer.FontBold = False  
Printer.FontItalic = False  
Printer.CurrentX = 1000  
Printer.CurrentY = 1000  
Printer.Print "1234567"  
Printer.EndDoc  
End Sub
```

■ バーコードフォントの制限事項

- アプリケーションによっては、バーコードフォントが文字種類のリストに表示されない場合があります。
アプリケーションがプリンタフォントに対応していることを確認してください。
- アプリケーションのドキュメント上には、バーコードは表示されません。文字または記号で表示されます。
- バーコードの回転を指定すると、アプリケーションから指定した位置と実際に印刷される位置が異なります。実際に印刷して位置関係を調整してください。
- バーコードの高さは文字サイズのポイント数で指定します。
下記以外のポイント数を指定した場合は、下記のポイント数に置き換えられるか、または、他の文字フォントに置き換えられ、バーコードが印刷されない場合があります。

ポイント数	バー高さ (mm)
8	2.8
9	3.2
10	3.5
11	3.9
12	4.2
14	4.9
18	6.4
24	8.5
30	10.6
36	12.7
48	16.9
60	21.2
72	25.4
108	38.1
144	50.8
180	63.5
216	76.2

- 漢字コードが含まれる場合
[ツール] - [設定] - [プリンタオプション] - [コマンドプロトコル] - [制御コード] を [ESC / LF / NUL] に設定してください。

■ 漢字フォント“TEC Kanji”の指定サイズと実際に印字される文字サイズの比較表

単位：ポイント

305dpi		300dpi	
指定サイズ	印字サイズ	指定サイズ	印字サイズ
1.0 ～ 2.0	1.9	1.0 ～ 2.5	1.9
2.5 ～ 3.0	2.8	3.0 ～ 3.0	2.9
3.5 ～ 5.0	3.8	3.5 ～ 5.0	3.8
5.5 ～ 7.0	5.6	5.5 ～ 7.0	5.8
7.5 ～ 9.0	7.5	7.5 ～ 9.0	7.7
9.5 ～ 10.0	9.4	9.5 ～ 10.5	9.6
10.5 ～ 14.0	11.3	11.0 ～ 14.5	11.5
14.5 ～ 16.0	15.1	15.0 ～ 16.5	15.4
16.5 ～ 18.0	16.9	17.0 ～ 18.5	17.3
18.5 ～ 21.5	18.8	19.0 ～ 22.0	19.2
22.0 ～ 27.0	22.6	22.5 ～ 27.5	23.0
27.5 ～ 32.5	28.2	28.0 ～ 33.0	28.8
33.0 ～ 50.0	33.9	33.5 ～ 50.0	34.6

203dpi		600dpi	
指定サイズ	印字サイズ	指定サイズ	印字サイズ
1.0 ～ 3.5	2.8	1.0 ～ 1.0	1.0
4.0 ～ 5.0	4.3	1.5 ～ 1.5	1.4
5.5 ～ 7.5	5.7	2.0 ～ 2.5	1.9
8.0 ～ 10.0	8.5	3.0 ～ 3.5	2.9
10.5 ～ 13.5	11.3	4.0 ～ 4.5	3.8
14.0 ～ 15.5	14.2	5.0 ～ 5.0	4.8
16.0 ～ 21.0	17.0	5.5 ～ 7.0	5.8
21.5 ～ 27.0	22.7	7.5 ～ 8.0	7.7
27.5 ～ 32.5	28.4	8.5 ～ 9.0	8.6
33.0 ～ 57.5	34.0	11.5 ～ 13.5	11.5
		14.0 ～ 16.5	14.4
		17.0 ～ 25.0	17.3

4. システム構成

本製品は、以下のシステム構成でご利用いただけます。

コンピュータ	DOS/V 機 (IBM PC-AT 互換機)
Win NT	Microsoft Windows 2000 / XP / Server 2003 / Vista / Server 2008
Win 9x	Microsoft Windows 98 / Me
プリンタ	東芝テック製バーコードプリンタ
セントロ	セントロニクスケーブル
プリンタ・サーバー	EtherNet 用プリンタ・サーバー機器 B-458-TS : オプション LAN 接続ボードを使用可能 B-484 / B-858 / B-SX : オプション PCMCIA ボードと LAN カードを使用可能 B-SX : オプション LAN 接続ボードを使用可能 B-SA4 / B-SX8R / B-858-R / B-SK10D / B-458-R / B-SP2D-JP / B-EP2DL-G-JP / B-EP4DL-T-JP / B-EV4-G / B-EV4-T : 標準で使用可能

補足 : * 本製品のインストール方法は、『2. インストール手順』をご覧ください。

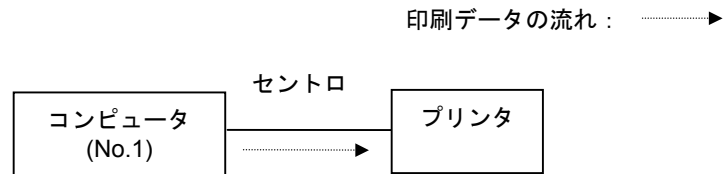
注意 : * プリンタ・サーバー機器をご使用の場合は、プリンタ・サーバー機器の説明書に従って接続ポートを設定してください。TEC オプション LAN 接続ボード、オプション PCMCIA ボードと LAN カードを使用してプリンタを LAN 接続する方法は、『6.3 LAN 接続方法』をご参照ください。

* ネットワークプリンタを使用される場合は、各 OS のインストールの『共有プリンタとして印刷する場合』をご参照ください。

4.1 システム構成例

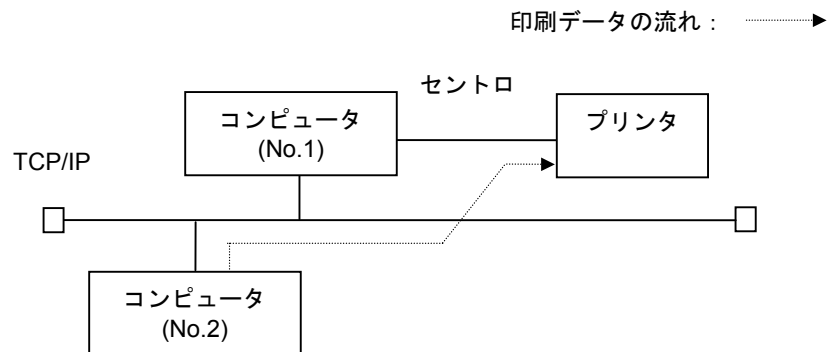
■ 例1. Win 9x 搭載コンピュータとプリンタを直接接続して印刷する場合

コンピュータ（No.1）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。
（使用するポートは LPT1（Local Port）に指定する。）



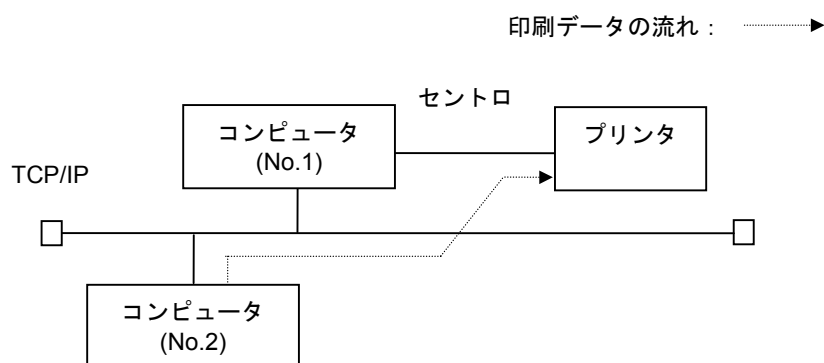
■ 例2. Win 9x 搭載コンピュータから TCP/IP を経由し、もう一台のコンピュータ（Win 9x 搭載）と直接接続しているプリンタから印刷する場合

1. コンピュータ（No.1）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。
（使用するポートは LPT1（Local Port）に指定する。）
2. コンピュータ（No.1）のプリンタを、プリンタのプロパティで共有プリンタに指定します。
3. コンピュータ（No.2）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。
4. コンピュータ（No.1）に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。



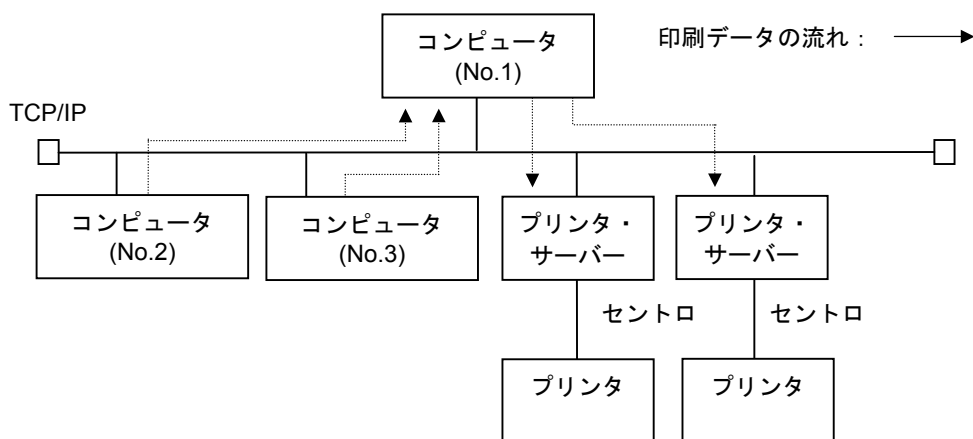
■ 例3. Win 9x 搭載コンピュータから TCP/IP を経由し、もう一台のコンピュータ (Win NT 搭載) と直接接続しているプリンタから印刷する場合

1. コンピュータ (No.1) にプリンタドライバ (Win NT 用) をインストールします。
(使用するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)
2. コンピュータ (No.1) のプリンタを、プリンタのプロパティで共有プリンタに指定します。
3. コンピュータ (No.2) にプリンタドライバ (Win 9x 用) をインストールします。
4. コンピュータ (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。



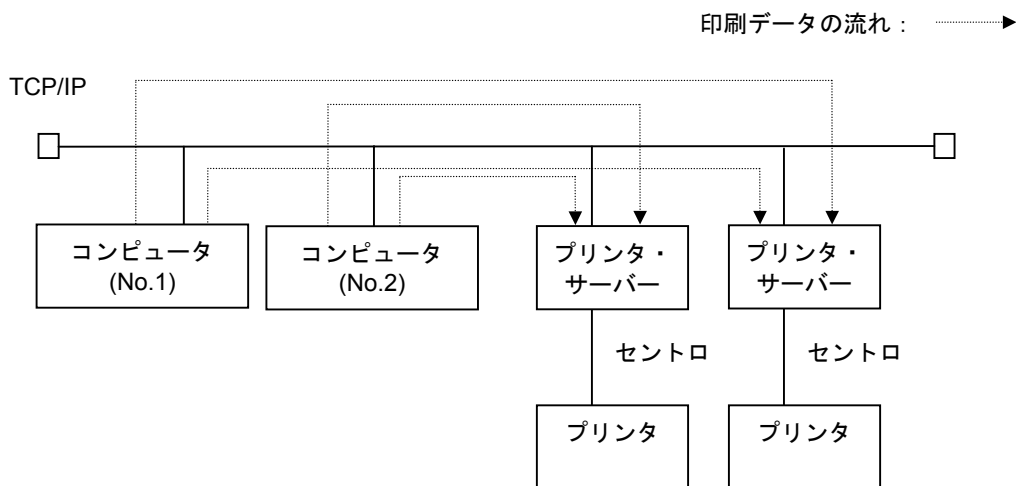
■ 例4. Win 9x 搭載コンピュータ (No.2) と Win NT 搭載コンピュータ (No.3) から、TCP/IP を経由して Win NT 搭載コンピュータ (No.1) に印刷データを送り、コンピュータ (No.1) から再度 TCP/IP を経由して複数台のプリンタで印刷する場合

1. コンピュータ (No.1) にプリンタドライバ (Win NT 用) をプリンタの台数分インストールします。
2. コンピュータ (No.1) にインストールしたプリンタドライバのプロパティで、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加します。
3. コンピュータ (No.1) からネットワーク上のプリンタを、プリンタのプロパティで共有プリンタに指定します。
4. コンピュータ (No.2) にプリンタドライバ (Win 9x 用) をインストールします。
5. コンピュータ (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。
6. コンピュータ (No.3) にプリンタドライバ (Win NT 用) をインストールします。
7. コンピュータ (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。



■ 例5. Win 9x 搭載コンピュータ (No.1) と Win NT 搭載コンピュータ (No.2) から、TCP/IP を経由して複数台のプリンタで印刷する場合

1. コンピュータ (No.1) にプリンタドライバ (Win 9x 用) をプリンタの台数分インストールします。
2. プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加します。
(LPR Port の追加は、プリンタ・サーバー固有の設定ユーティリティなど、他のソフトウェアにて行ってください。)
3. コンピュータ (No.1) の印刷先のポートを、手順2で追加した LPR Port に指定します。
4. コンピュータ (No.2) にプリンタドライバ (Win NT 用) をプリンタ台数分インストールします。
5. コンピュータ (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティで、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加します。
6. コンピュータ (No.2) の印刷先のポートを、手順5で追加した LPR Port に指定します。



注意 : 例5のように、1台のプリンタに対して複数のクライアントコンピュータから同時に印刷を行うと、プリンタ側で“コマンドエラー”が発生し、正しく印刷されない場合があります。
1台のプリンタで複数のクライアントから印刷を行う場合、例4の構成をお勧めします。

5. Standard TCP/IP Port の追加 / 削除

LAN インターフェースをご利用いただく場合、プリンタのシステムモードの“<7>IP ADDRESS”で次の設定を行ってください。

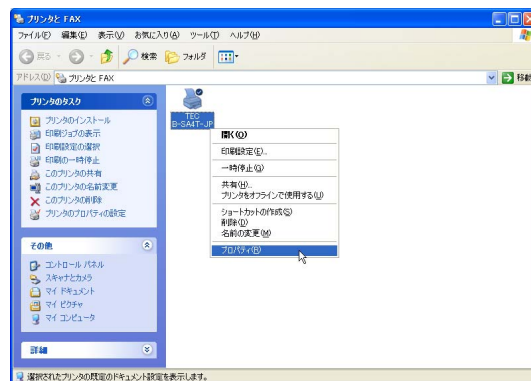
- * “PRINTER IP ADDRESS”、“GATEWAY IP ADDRESS”、“SUBNET MASK”に IP アドレスを設定
- * “SOCKET PORT”にポート番号を設定

設定した“PRINTER IP ADDRESS”と“SOCKET PORT”は、ポートの追加の“プリンタ名または IP アドレス(A)”と“ポート番号(P)”の設定に使用します。

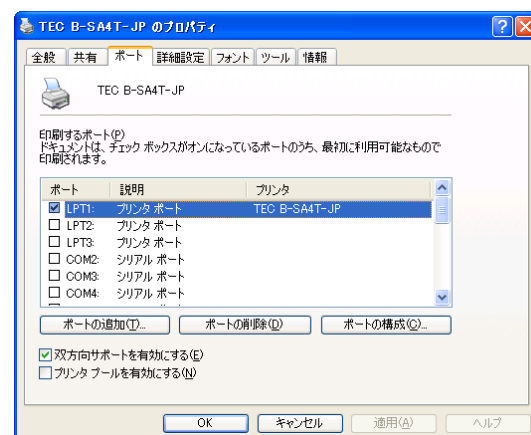
注意：双方向通信を使用する場合、1台のコンピュータに複数のプリンタドライバを同じ出力ポートに指定しないでください。同じ出力ポートを指定する場合には、[双方向通信サポート]を無効にしてご使用ください。
また、複数のコンピュータで同じプリンタに接続することはできません。共有プリンタを指定するか、双方向通信サポート]を無効にしてご使用ください。

5.1 追 加

1. プリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ(R)] をクリックしてプリンタのプロパティを開きます。



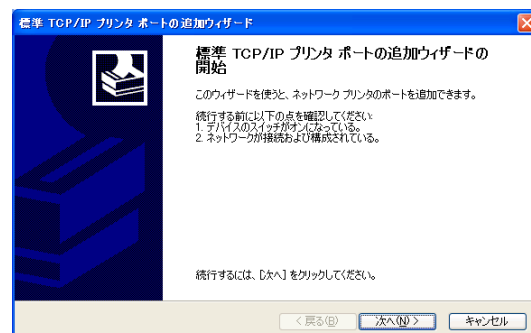
2. [ポート] タブを選択し、[ポートの追加(T)] をクリックします。



3. 利用可能なポートの種類の一覧から “Standard TCP/IP Port” を選択し、[新しいポート(P)] をクリックします。



4. 『標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード』起動後、[次へ(N)] をクリックします。



5. 『プリンタ名または IP アドレス(A)』を入力後、[次へ(N)]をクリックします。

補足：『ポート名(P)』は『プリンタ名または IP アドレス(A)』を入力すると自動で設定されます。

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード

ポートの追加
どのデバイスに対するポートを追加しますか？

希望のデバイスのプリンタ名または IP アドレス、およびポート名を入力してください。

プリンタ名または IP アドレス(A): xxxxxxxx.xxxxxx
ポート名(P): xxxxxxxx.xxxxxx

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6. 『デバイスの種類』を[カスタム(C)]に指定後、[設定(E)]をクリックします。

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード

ポート情報がさらに必要です。
デバイスを識別できませんでした。

デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください。

1. デバイスがオンになっている。
2. ネットワークが接続されている。
3. デバイスが正しく構成されている。
4. 前のページのアドレスが正確である。

アドレスが間違っていると考えられる場合は、[戻る]をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークでの検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。

デバイスの種類
☐ 標準(S) Generic Network Card
☒ カスタム(C) **設定(E)**

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. 『プロトコル』にRawを選択する場合、ポート番号を入力後、[OK]をクリックします。ポート番号はプリンタの“SOCKET PORT”と同じ値を設定してください。プリンタのデフォルト値を使用する場合は8000に設定してください。[SNMP ステータスを有効にする(S)]はチェックしないでください。

『プロトコル』にLPRを選択する場合、キュー名を入力後、[OK]をクリックします。[LPR バイトカウントを有効にする(B)]および[SNMP ステータスを有効にする(S)]はチェックしないでください。

補足：双方向通信によるステータスマニター機能を使用する場合、Rawを選択してください。

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード

ポートの設定

ポート名(P): xxxxxxxx.xxxxxx
プリンタ名または IP アドレス(A): xxxxxxxx.xxxxxx

プロトコル
☒ Raw(R) ☐ LPR(L)

Raw 設定
ポート番号(N): 8000

LPR 設定
キュー名(Q):
☐ LPR バイト カウントを有効にする(B)

☐ SNMP ステータスを有効にする(S)
コミュニティ名(C): public
SNMP デバイス インデックス(I): 1

OK キャンセル

8. [次へ]を押し、[完了]をクリックします。

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの完了

次の特性でポートが選択されました。

SNMP: いいえ
プロトコル: RAW, ポート 8000
デバイス: xxxxxxxx.xxxxxx
ポート名: xxxxxxxx.xxxxxx
アダプタの種類:

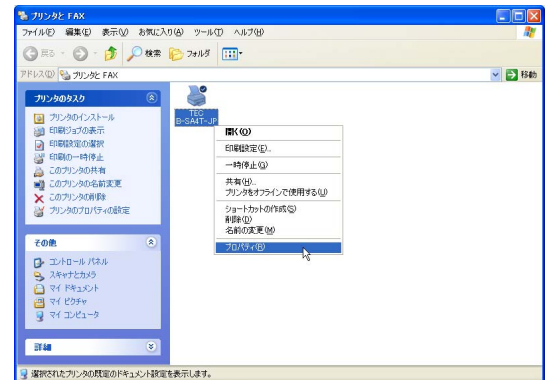
このウィザードを完了するには、[完了]をクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

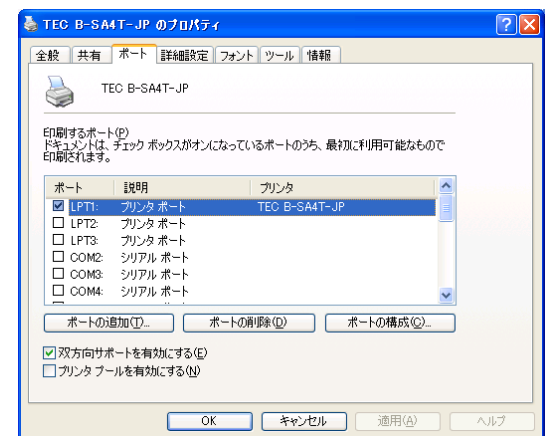
9. [標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード]が終了すると、印刷するポートに新しくポートが追加されます。

5.2 削 除

1. プリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ(R)] をクリックしてプリンタのプロパティを開きます。



2. [ポート] タブを選択し、削除するポートを選択し、[ポートの削除] をクリックします。

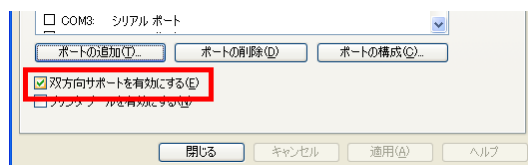


3. ポートの削除が終了すると、印刷するポートから削除されます。

6. 付 録

6.1 双方向通信サポートの設定方法

1. プリンタフォルダから、プリンタのアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開きます。
2. [ポート] タブを選択します。
3. 双方向通信サポートを有効にする場合は、[双方向サポートを有効にする(E)] にチェックします。
無効にする場合はチェックを外します。

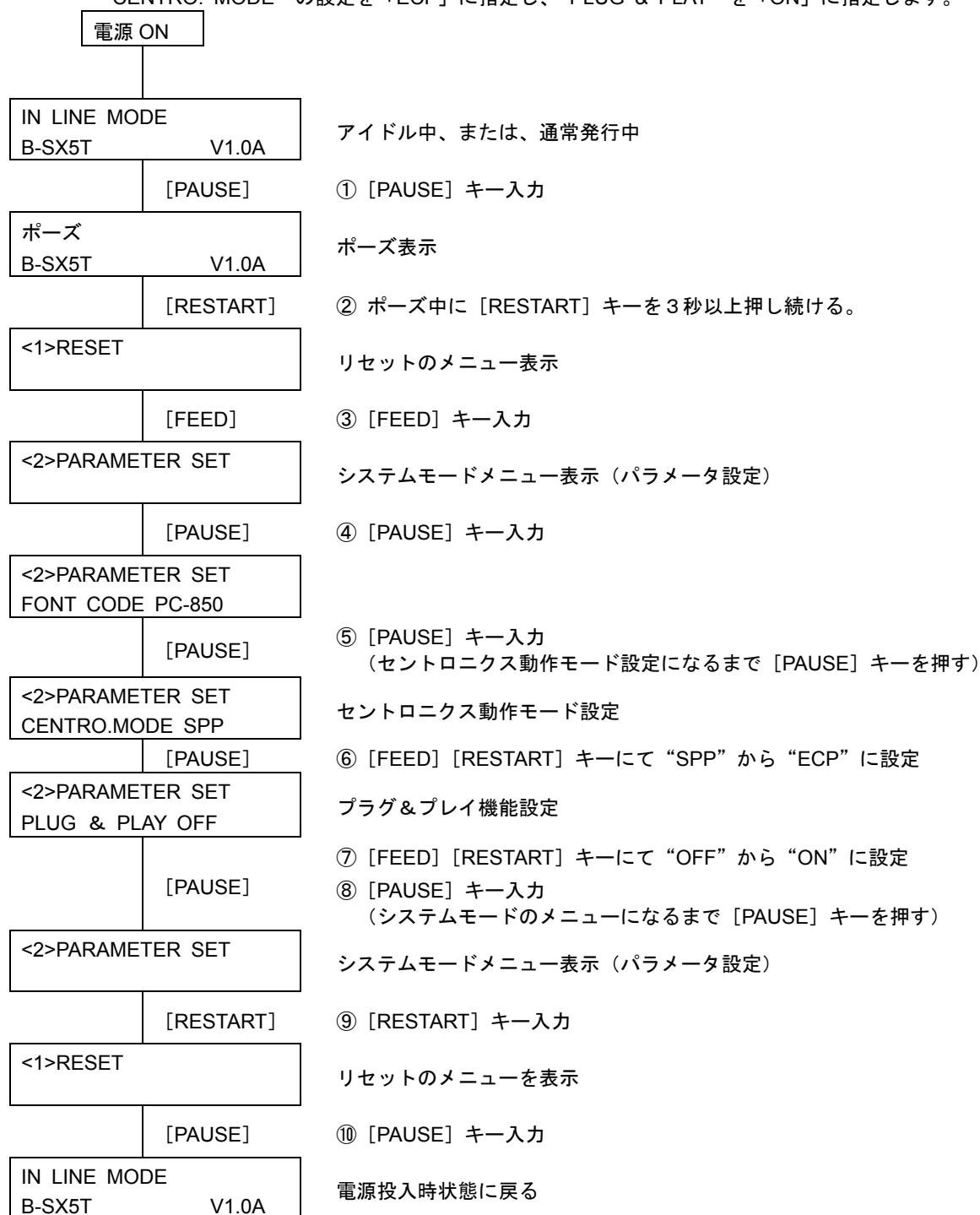


6.2 プリンタのパラメータ設定方法

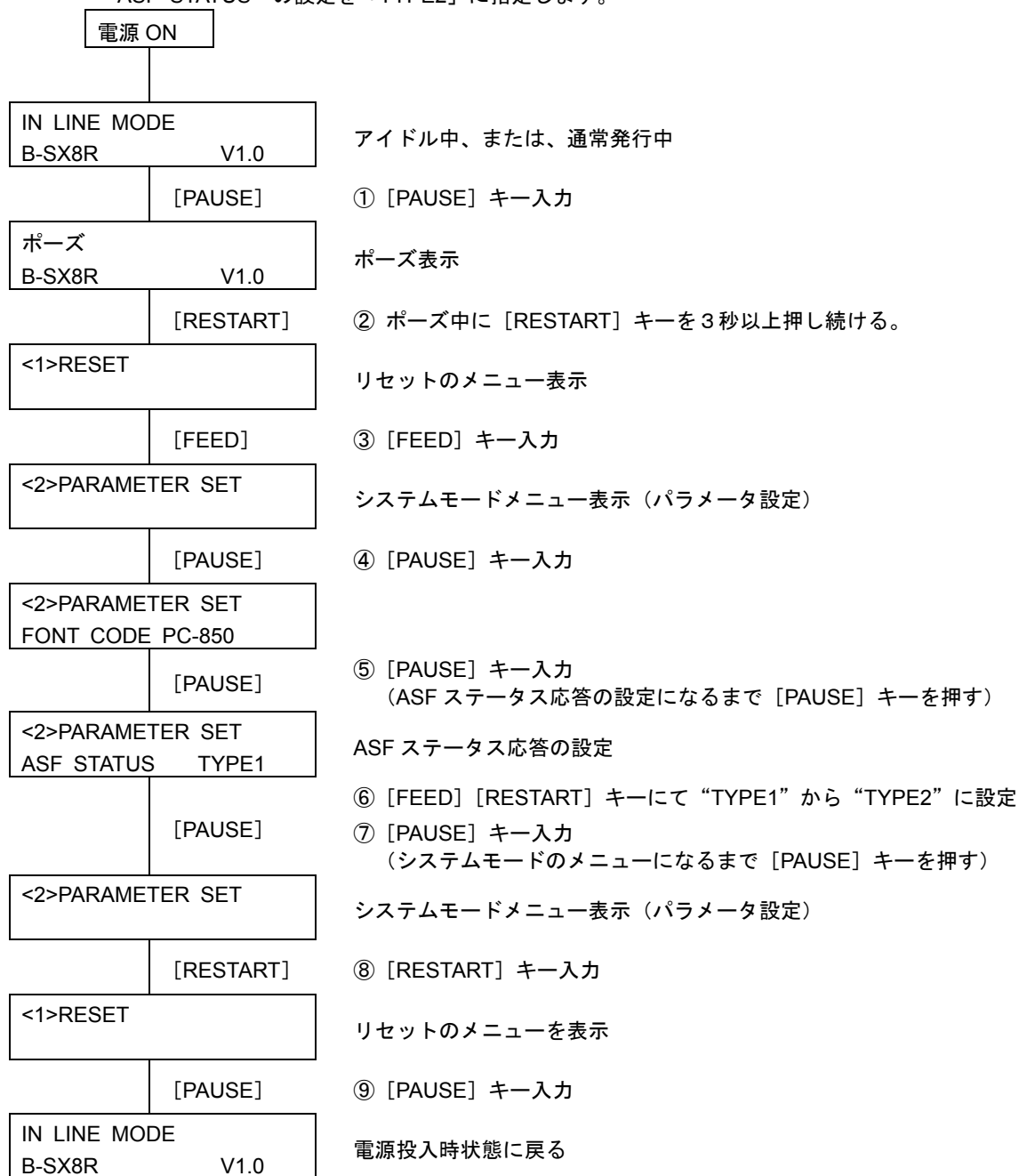
パラメータの設定方法は、接続している当社製バーコードプリンタの取扱説明書をご覧ください。

注意：下記の手順は B-SX5T-TS15プリンタのパラメータ設定方法です。

“CENTRO. MODE” の設定を「ECP」に指定し、“PLUG & PLAY” を「ON」に指定します。



注意：下記の手順は B-SX8R-TS15 プリンタのパラメータ設定方法です。
 “ASF STATUS” の設定を「TYPE2」に指定します。



6.3 LAN 接続方法

プリンタのプロパティでプリンタポートを追加し、印刷先として指定します。

使用するプリンタポートの種類はプリンタ、および通信方法（単方向/双方向）により異なります。

■ プリンタポートの種類

LAN 接続オプション	プリンタ	通信方法	プリンタポート Standard TCP/IP Port
LAN 用接続 BOX			
B-7704-LBX	B-374-TS15 B-474-TS15 B-874-TS15 / TS25 B-433-GS15 / TS15 B-458-TS13 / TS23 / TS33 / HS13 B-484-TS15 B-858-TS15	単方向	Raw or LPR プロトコル
LAN 接続ボード			
B-7704-LAN	B-458-TS13 / TS23	単方向	Raw or LPR プロトコル
B-7708-PC	B-458-TS33 B-484-TS15 B-858-TS15	単方向	Raw or LPR プロトコル
B-9700-PCM	B-SX5T-TS15	単方向	Raw or LPR プロトコル
B-9700-LAN		双方向	Raw プロトコル
標準装備			
B-SA4TM / TP-TS15 B-SX8R-TS15 B-858-TS25-R B-SK10D B-458-TS25-R B-SP2D-GH40 B-EP2DL-GH40-R B-EP4DL-TH40-R B-EV4D-GS14-R B-EV4D-TS14-R	単方向	Raw or LPR プロトコル	
	双方向	Raw プロトコル	

注意： 単方向通信ときは、必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。
指定方法は、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照ください。

Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008対応

B-374, B-474, B-874, B-433, B-433T, B-458, B-458H, B-484, B-858, B-419G, B-SX5-JP, B-SP2D-JP, B-SV4-JP,
B-SA4T-JP, B-SA4G-JP, B-SX8R-JP, B-858-R, B-433-CSG, B-SK10D-JP, B-458-R, B-EP2DL-G-JP, B-EP4DL-T-JP
B-EV4-G, B-EV4-T

プリンタドライバ 操作マニュアル

2008年 12月 第23版発行

WBX8Z3119

発 行 東芝テック株式会社

〒141-8664

東京都品川区東五反田2丁目17番2号
オーバルコート大崎マークイースト